SAMSUNG TECHWIN

SMARTVIEWER4.01

取扱説明書



このプログラムのインストール前または使用中にも、SamsungTechwinのWebサイトwww.samsungsecurity.comから、
最新のS/Wバージョンを確認しダウンロードしてインストール及びアップグレードしてください。

概要

目次

概要 2
2 目次
4 SmartViewer とは
5 SmartViewer の特徴
5 用語集

インストール 6
6 インストール
8 インストールス結果を確認するには

SMARTVIEWER 9
9 ログイン/ログアウト
11 SmartViewerの概要

LIVE VIEWER 12
12 Live Viewer 画面の名前及び機能
14 映像ウィンドウ表示情報の名前及び機能
15 デバイスへの接続及び切断
16 カメラリスト
17 アラーム出力リストおよび制御
18 イベントリスト
20 デバイス状態情報のリスト
21 お気に入りリスト
22 デジタルズーム
24 PTZコントロール
27 Live Viewerの映像を制御するには

SEARCH VIEWER 32
32 Search Viewer の各項目の名前および機能
33 デバイスリスト
33 日付検索
34 POS検索
35 高度な検索
35 デジタルズーム
35 再生データの検索
37 再生コントロール
38 バックアップ

設定 40

40 オプションタブ
44 カメラタブを非表示にする
45 ユーザータブ
46 ビューア - アップデートタブ
48 ログ情報タブ
49 デバイス登録タブ
52 デバイス - アップデートタブ
54 Open Source License Notification On The Product

概要

SMARTVIEWER とは

SmartViewerは、SamsungTechwin製品をネットワークを介して遠隔からPCを利用し、接続・制御するプログラムです。
このプログラムを使用すると、ネットワークを介して世界中どこでもSamsungTechwin製品にアクセスし、接続されたカメラの映像を確認することができます。
また、録画データを遠隔から検索・再生することができ、効率的で便利な監視環境を構築することができます。

サポートなし

SVR-440, SVR-450, SVR-470, SVR-940, SHR-3040

システム仕様

項目	最低PC仕様	推奨PC仕様
CPU	CPU Intel i3以上	CPU Intel i7 (Sandy bridge)以上
RAM	3GB以上	4GB以上
HDD	200GB以上	200GB以上
VGAアダプタ	512MB以上	1GB以上
解像度の表示	1024X768以上	
OS	Windows XP Professional SP2, Windows Vista Business/ Ultimate, Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise, Windows 8 32/64bit DirectX 9.0以降、OpenGL互換	
NIC CARD	100 MB Ethernet NIC イーサネットNIC（ギガビットイーサネットを推奨)	

▪ OSのログインアカウントとは無関係にSmartViewerを実行することができます。
- v3.13より前のバージョンでは、管理者のアカウントでのみNET-i viewerを実行できます。
- インストール、アンインストールおよびアップデートを行うためには、ご使用のオペレーティングシステムの管理者権限が必要です。

▪ v3.12以前のバージョンからアップデートする際には、以下の事項に注意してください。
- ログ、録画、バックアップおよび取り込んだ画像のファイルパスが変更されます。（既存のファイルは元の場所に残ります。）
- 十分な権限がない状態でファイルパスを選択した場合、設定は適用されますがファイルには書き込まれません。
- 1台のPCで異なるユーザーアカウントを使用して2つ以上のCMSインスタンスを実行した場合には、正常に動作しない可能性があります。

SMARTVIEWER の特徴

- Live Viewer
  - 最大36個の映像を同時に監視可能
  - 最大2時間まで1つの映像を保存可能
  - 全画面モードをサポート
  - ドラッグアンドドロップで目的の位置に映像追加機能
  - ダブルクリックによって映像を映像画面に追加
  - シーケンスをサポート（自動画面切換）
  - お気に入りの支援およびお気に入りのシーケンス
- Search Viewer
  - 最大16の映像を同時再生
  - 範囲バックアップをサポート（実行ビューワー内臓）
  - デバイス内で、イベントの種類別に分類されている録画データを検索して、再生します
- 設定
  - ユーザーログイン機能及び権限による機能使用制限可能
  - 最大3000台のデバイスを登録/管理可能
  - 複数のデバイスを1つのグループとして作成
    （最大100グループ、1グループ当たり最大36デバイス）
  - デバイス設定情報をファイルとして保存可能
  - SmartViewerの設定情報をファイルとして保存可能
  - ログ検索機能（システム・ユーザー・録画・バックアップなどログ別検索可能)
- アップデート
  - アップデートサーバーを利用してリモートアップデート可能

用語集

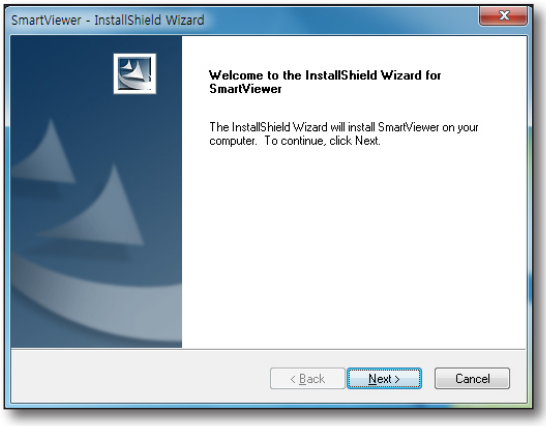
- デバイス: SmartViewerを介してネットワークにアクセスしようとしているネットワークカメラ/ DVR / NV。
- ツリー: デバイス、カメラ、アラームおよびユーザー（グループ）の情報や、これらの相関関係が表示される領域。
- fps（frames per second）: 1秒間に表示されるフレーム数を示す単位。
- 解像度: 接続されたカメラの元の映像のサイズ。
  次の解像度が事前定義されています:
  - 4CIF: 704X480（NTSC）、704X576（PAL）
  - VGA: 640X480（NTSC）、640X576（PAL）
  - CIF: 352X240（NTSC）、352X288（PAL）

インストール

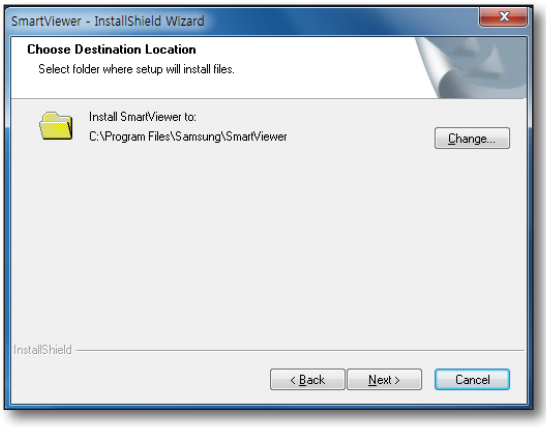
インストール

ローカルPCにSmartViewer設置プログラムを実行してSmartViewerをインストールします。

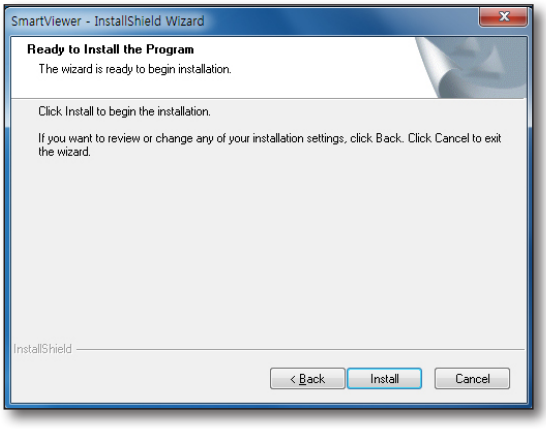
1. インストールCDまたはPCにダウンロードした SmartViewerの実行ファイル（Setup Launcher）を実行します。
2. インストールガイド画面が表示されたら、[**Next >**] をクリックします。



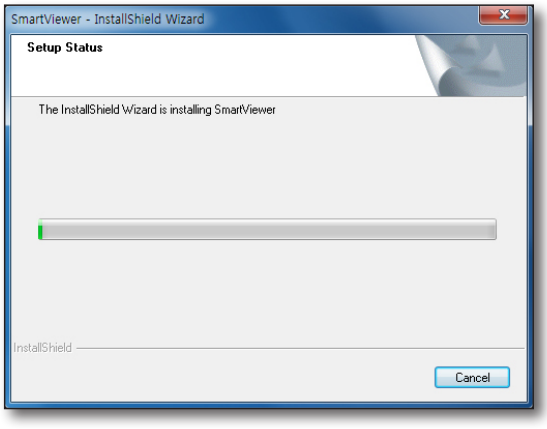
3. インストールファイルを保存するための保存先フォルダを指定します。
   デフォルトのパスは “C: \Program Files\Samsung\SmartViewer\”です。
   - パスを変更するには、[**Change...**] をクリックし、目的のパスを指定するか、フォルダを選択します。
4. 次の手順に進むには、[**Next >**] をクリックします。



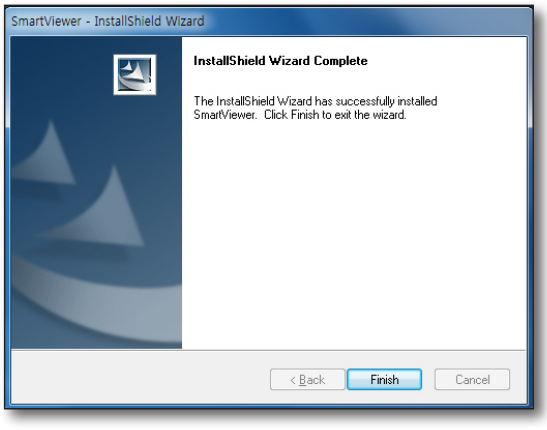
5. [**Install**] をクリックし、インストールを開始します。



6. SmartViewerのインストールが進行します。



7. インストール完了後、[**Finish**] をクリックしてインストール画面を終了します。

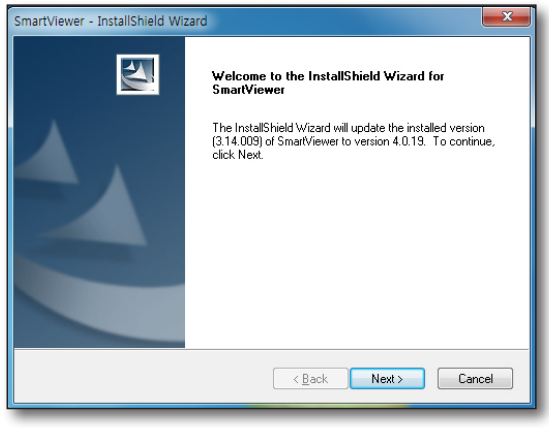


インストール

アップグレード

SmartViewerがすでにPCにインストールされている場合はアップグレードされたプログラムを実行してアップグレードすることができます。

1. アップグレードするプログラム“**Setup Launcher**”を実行します。
   確認ダイアログがポップアップします。
2. [**Next >**] ボタンをクリックします。

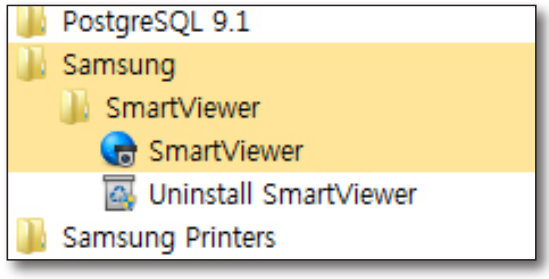


- プログラムのアップグレード直後にSmartViewerが実行された場合は、誤動作が発生することがあります。

インストールス結果を確認するには

インストール完了後、SmartViewerが正しくインストールされたことを確認してください。

1. <**Start**>メニューに移動します。
2. SmartViewerが正しくインストールされている場合、samsungのSmartViewerの下に<**SmartViewer**>と<**Uninstall SmartViewer**>という2つのサブメニューが表示されます。



SmartViewer

デスクトップで、自動作成されたプログラムアイコンをダブルクリックすると SmartViewerが起動します。

ログイン/ログアウト

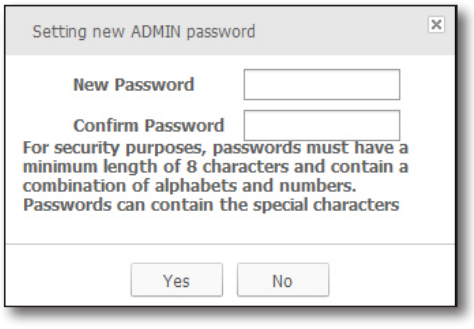
ログイン

SmartViewerを使用するにはログインする必要があります。

1. デスクトップ上でSmartViewerアイコンをクリックします。
   ログインダイアログが表示されます。
2. ユーザーIDとパスワードを入力します。
   デフォルト ID : ADMIN

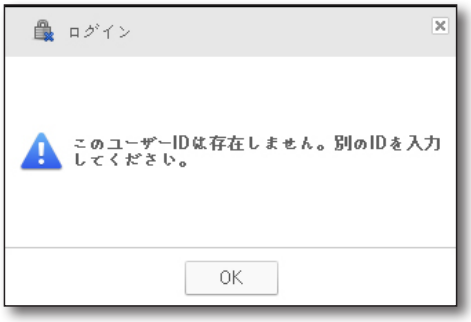


- 最初にログインするためには、基本的なID/パスワードを設定する必要があります。
  パスワードには8~31桁のアルファベットと数字の組み合わせを使用する必要があります。
  同じパスワードが30日以上使用される場合、パスワードの変更を推奨するメッセージが表示されます。

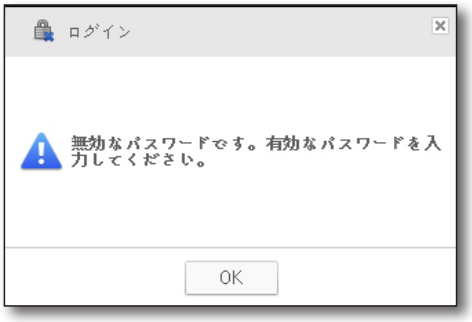


- 設定メニューで <**自動ログイン**（**admin**）> を設定した場合、プログラムの起動時に自動的にログインします。

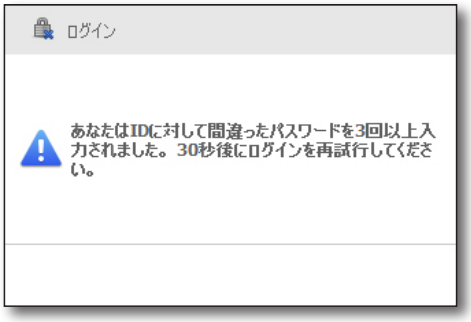
- エラーメッセージが表示されるログイン失敗の例は、次のとおりです。
- 間違ったパスワードを3回連続して入力した場合、ログインが30秒間できなくなります。



<登録されていないアカウントを入力した場合>



<正しくないパスワードを入力した場合>



<間違ったパスワードを3回連続して入力した場合>

ログアウト

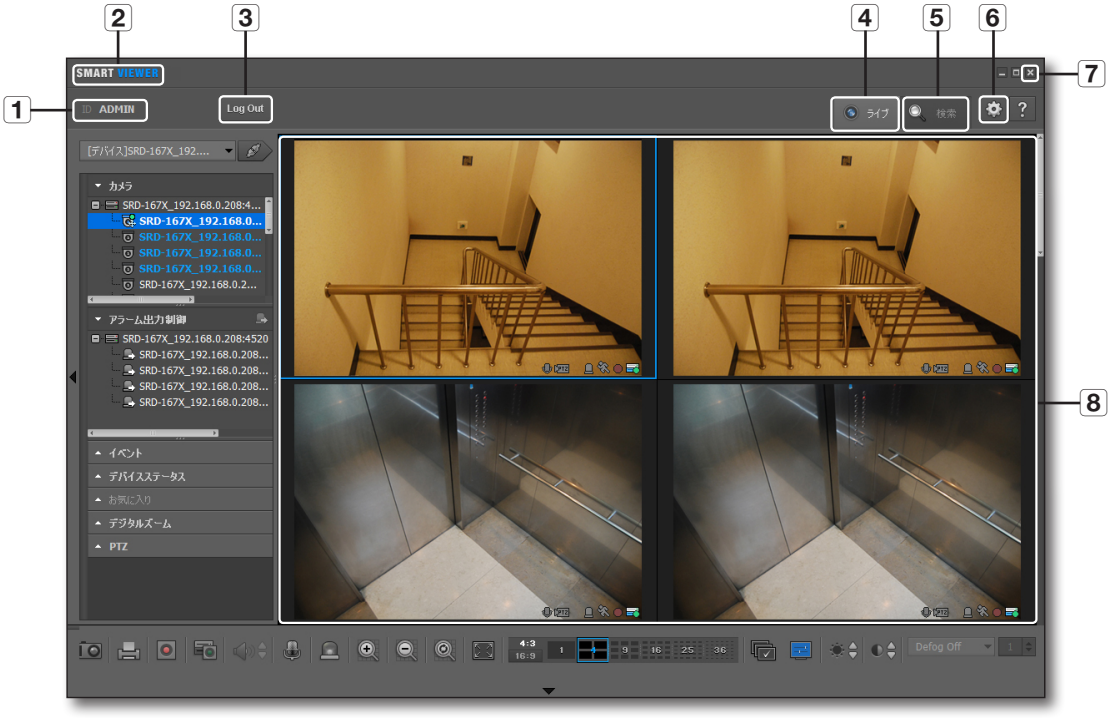
SmartViewerでの作業が完了したら、ログアウトして終了します。
ログアウトすると、プログラムウィンドウがすべて閉じられ、ログインダイアログに戻ります。
(現在の画面設定は自動保存されます。)

1. メインウィンドウから [**ログアウト**] をクリックします。
   ログアウトダイアログが表示されます。
2. ダイアログで [**はい**] をクリックするとログアウトします。
   SmartViewerを終了すると、自動的にログアウトします。



SMARTVIEWERの概要

SmartViewerの画面構成。

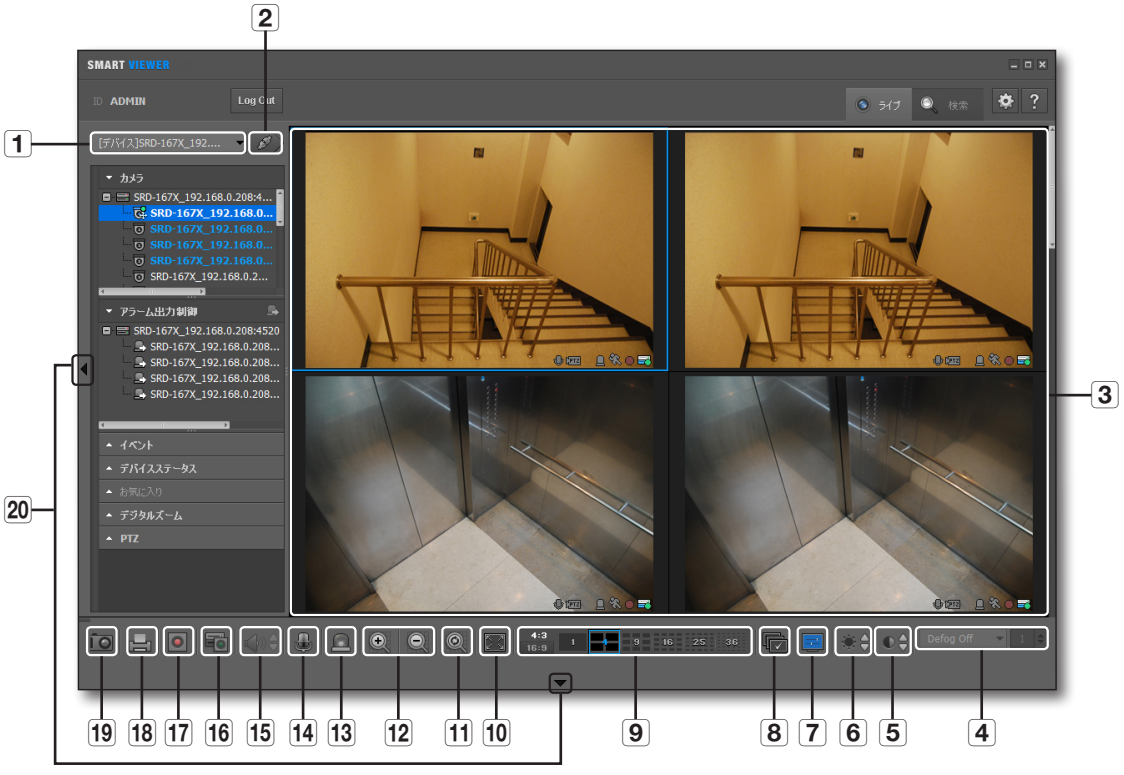


項目		説明
1	ID	ユーザーIDを表示します。
2	S/Wタイトルバー	ソフトウェアの名前を表示します。
3	Log Out	クリックしてログアウトします。
4	ライブ	Live Viewerを起動します。
5	検索	Search Viewerを起動します。
6	設定	設定画面を開きます。
7	終了	アプリケーションを終了します。
8	映像画面	Live ViewerまたはSearch Viewerを表示します。

live viewer

SmartViewerのメイン画面の右上で、[**ライブ**] タブをクリックします。

LIVE VIEWER 画面の名前及び機能



項目		説明
1	デバイスリスト	登録されているデバイスのリストを表示します。 接続後は接続したデバイスのみが表示されます。 接続するデバイスを検索できます。
2	接続/切断	デバイスの接続または切断をします。
3	映像画面	Live Viewer画面を表示します。
4	曇りを除去する	カメラの曇り除去機能を設定して、レベルを調整します。 ▪ 曇り除去とは、霧対策及び曇り除去機能です。 この機能は、霧のある場合、またはレンズが曇っている時でも、鮮明な映像を録画することができます。
5	コントラスト	現在の画面のコントラストを調整できます。
6	明るさ	現在の画面の輝度を調整できます。

項目		説明
7	OSD	画面情報を表示/非表示します。
8	シーケンス	選択した分割画面の自動切換を実行します。
9	縦横比の切り替え	ライブ画面表示の縦横比を選択します。
10	全画面	現在の映像を全画面で表示します。
11	基本値復帰	拡大または縮小された画面をデフォルトのサイズ（100%）に戻します。
12	拡大/縮小	画像を拡大または縮小します。
13	イベントを初期化する	この機能は、イベント発生時に表示されたイベントを削除します。
14	マイク	接続されているデバイスが音声信号をサポートしている場合は、マイクを使用することができます。
15	音量調整	オ-ディオの音量レベルを調整します。
	スピーカー	スピーカーをオンまたはミュートにします。
16	デバイスの録画	接続機器の録画を実行、または停止します。
17	録画	選択した映像ウィンドウでの映像を録画開始または停止します。
18	印刷	現在の映像画面を印刷します。
19	保存	選択した映像画面の現在の画像を画像フォーマットで保存します。
20	ウィンドウの調整ボタン	メニューウィンドウまたは調整ボタンの表示と非表示を切り替えます。

映像入力状態の表示

カメラの映像信号の、次のような入力状態を確認できます。

1.  : ビデオロス
2.  : 切断
3.  : 同時接続ユーザー数を超えています
4.  : カメラがオフになっているかコバートモードです

live viewer

映像ウィンドウ表示情報の名前及び機能



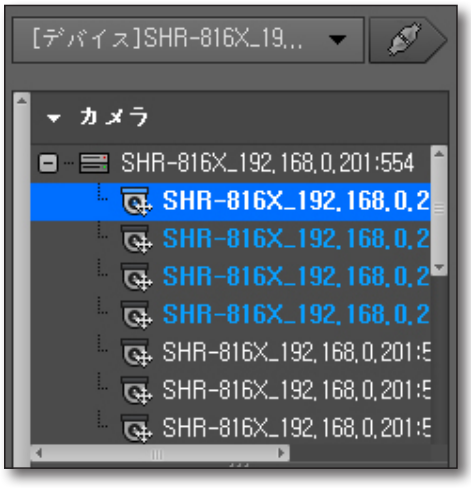
項目		説明
1	カメラ名	デバイスで設定した名前を表示します。
2	日付と時刻	映像の日付および時刻を表示します。
3	デバイスの録画	接続されたデバイスに、手動で録画中/録画停止の状態を表示します。 ■ 一部のデバイスでは、スケジュール/手動録画の状態の両方が表示されます。
4	録画	SmartViewerが実行中のPCに録画中/録画停止の状況を表示します。
5	インテリジェント映像分析	該当するカメラで選択した映像分析イベントが検出されると、それに応じてインジケータの色が変わります。
6	音声検出	該当するカメラで選択した音声イベントが検出されると、それに応じてインジケータの色が変わります。
7	モーション	接続されているカメラでイベントが発生すると、モーションインジケータが表示されます。
8	アラーム	イベントが発生すると、アラームインジケータの色が変化します。
9	スピーカー	音声出力状態を表示します。
10	PTZ	接続されているデバイスの PTZ 機能支援可否を表示します。

項目		説明
11	マイク	マイクの使用状況を表示します。
12	ビデオ暗号化	ビデオが暗号化されているかどうかを示します。 暗号化をサポートしているデバイスに対してのみ有効です。

デバイスへの接続及び切断

デバイスに接続するには

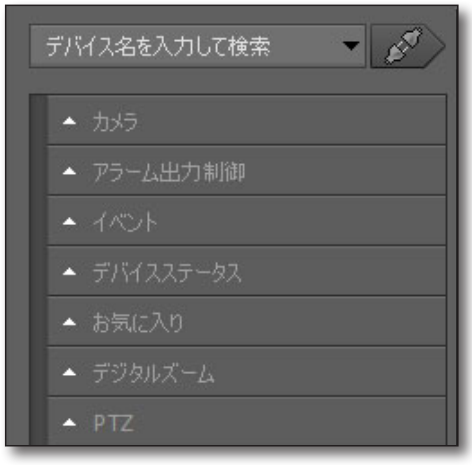
1. 接続するデバイスを選択します。
   設定メニューに登録されているデバイスまたはグループのみが一覧表示されます。
2. デバイス選択チェックボックスの右にある [**接続** ( )] ボタンをクリックします。
   選択されたデバイスに接続すると、デバイスに接続されているカメラのリストが表示されます。



- リストにデバイスを追加するには、"**設定** > **デバイス** > **デバイス登録**" を参照してください。 (49ページ)
- 複数のデバイスに同時に接続するには、"**グループ**"を使用してください。
- 接続状態でログアウトした後に再度ログインすると、以前接続デバイスまたはグループに自動的に接続します。
- リストを選択してテキスト（キーワード）を入力すると、そのテキストを含むグループとデバイスのみが検索結果に表示されます。 デバイスまたはグループの長い一覧を検索する場合に便利です。

デバイスを切断するには

1. [**切断** ( )]ボタンを押します。
2. デバイスから切断され、登録されているすべてのデバイスのリストが表示されます。
3. デバイスを切断する際には、検索フィールドに"**デバイス名を入力して検索**"と表示されます。登録済みのデバイスから、検索する名称を入力してください。

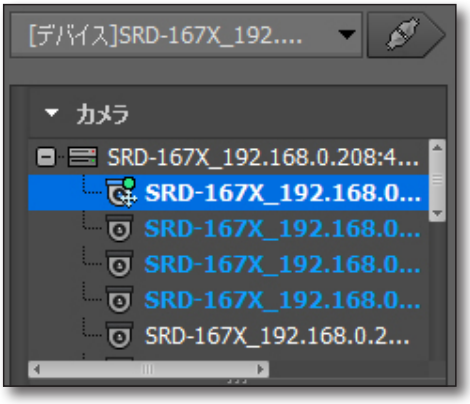


カメラリスト

デバイスに正常に接続すると、デバイスに接続されているカメラのリストが表示されます。

カメラのアイコン説明

カメラリストの各カメラ名の左にあるアイコンでカメラの情報を確認することができます。

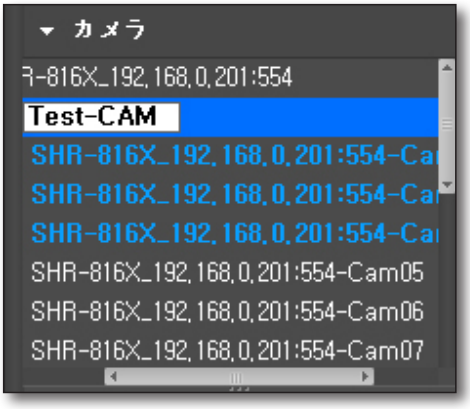


1. : 通常カメラ
2. : PTZ制御可能カメラ
3. : 録画中のカメラ
4. : 切断
5. : リスン状態のカメラ
6. : トークを収録中のカメラ

■ 1つのカメラに複数のアイコンが表示される場合があります。

カメラの名前を変更するには

1. カメラを選択してキーボードの[**F2**]キーを押すか、選択したカメラを再度クリックするとカメラ名が変更可能になります。
2. カメラ名を変更します。
3. 接続されたデバイス/グループ名を変更すると、接続を切断して名前の変更を続行するかどうか尋ねるプロンプトが表示されます。



カメラを検索するには

1. カメラリストが有効な状態で、キーボード[**Ctrl+F**] のキー組合せを押します。
2. 検索ダイアログがポップアップしたら、<**検索対象**> にカメラ名を入力します。
3. [**次の検索**] をクリックします。



タイルを選択するには

手順 1 : タイルを選択し、目的のカメラをダブルクリックします。
強調表示された画面に選択したカメラの映像が表示されます。

手順 2 : カメラを選択し、目的のタイルにドラッグアンドドロップします。

手順 3 : カメラを選択し、目的のタイルにドラッグアンドドロップします。
既存の画面が切り替わり、選択したカメラの映像が表示されます。

アラーム出力リストおよび制御

デバイスに正常に接続すると、アラーム出力イベントのリストが表示されます。

アラーム出力を制御するには

デバイスのアラーム出力イベントを制御できます。

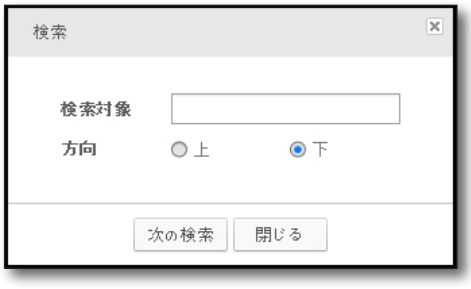
1. アラーム出力イベントのリストを選択します。
2. アラーム出力イベントのタイトルバーで コントロールボタンをクリックします。
これは、アラーム出力ステータスに応じて切り替わる切り替えボタンです。



■ デバイスによってはアラーム出力のコントロールを使用できない場合があります。

アラームを検索するには

1. カメラリストが有効な状態で、キーボード[**Ctrl+F**] のキー組合せを押します。
2. 検索ダイアログが表示されたら、<**検索対象**> にアラーム名を入力します。
3. [**次の検索**] をクリックします。



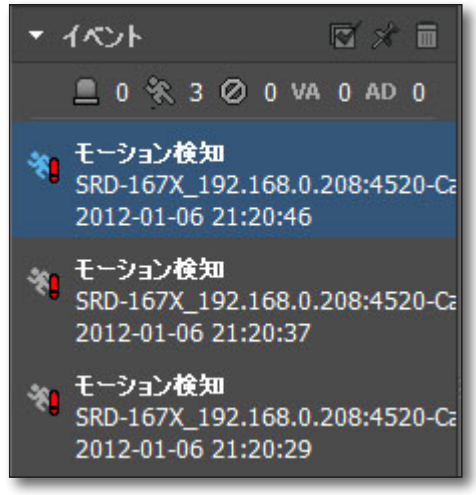
イベントリスト

デバイスから発生したイベントを確認できます。
イベントが発生すると、イベント映像が自動的に表示されます。この設定は、<**設定**>メニューで変更できます。

イベントのアイコン説明

イベントリストの各イベントの左にあるアイコンで情報を確認することができます。

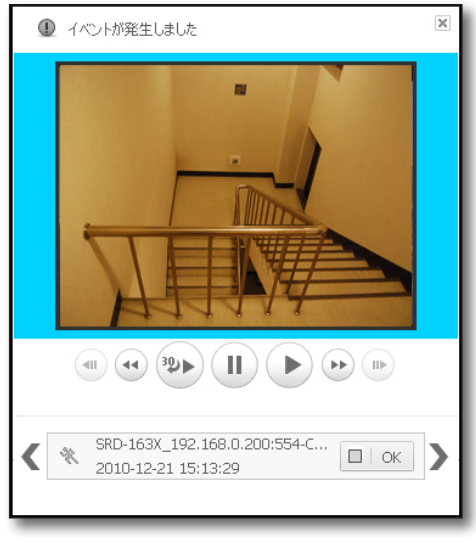
1. : モーションイベントの発生を表示します。
2. : ビデオロスの発生を表示します。
3. : アラームの発生を表示します。
4. : インテリジェント映像分析イベントの発生を示します。
5. : 音声検出イベントの発生を示します。



- イベントが初めて発生した場合、赤い（!）マークを表示します。
- 各イベントの発生件数をイベントリストの上部に表示します。

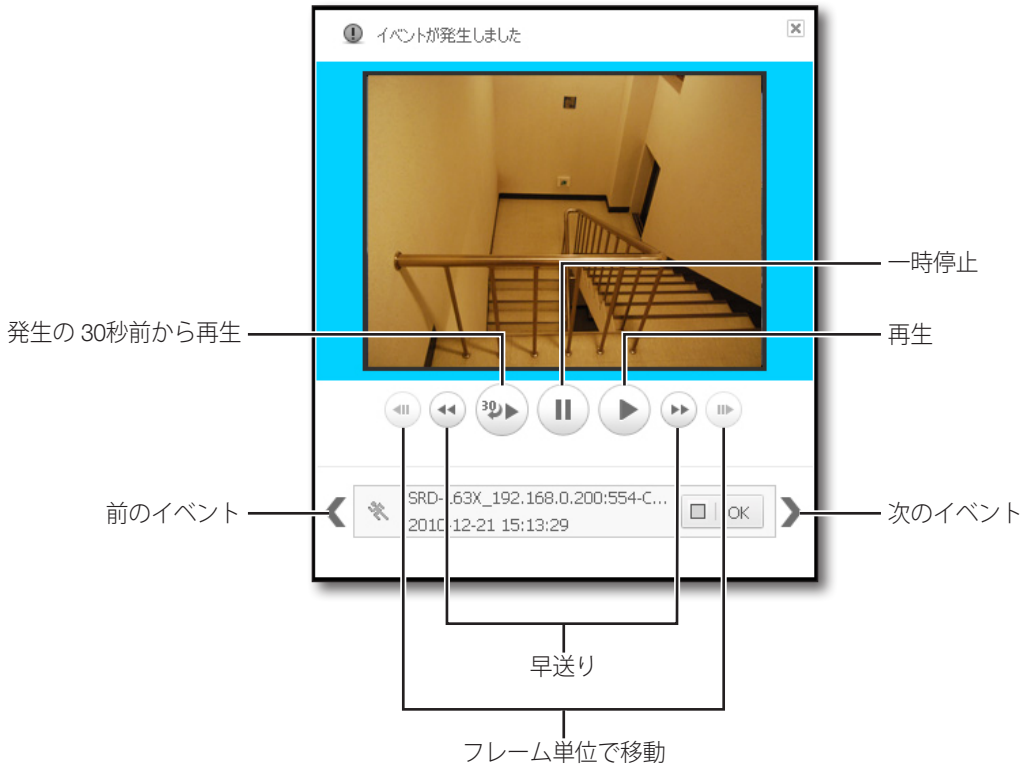
イベントを確認するには

1. イベントリストでは、ユーザーが確認したイベントと、ユーザーが確認していないイベントが区別されます。
2. イベントリストをダブルクリックします。
   ポップアップウィンドウでイベント発生時間における映像を確認できます。
3. イベントポップアップで [**OK**] をクリックします。
   イベントステータスが確認済に切り替わります。



- イベントポップアップの右上にある「閉じる」ボタンをクリックすると、イベントを確認せずに映像ウィンドウが閉じられます。

イベントウィンドウの各項目の名前及び機能



イベント全体を確認するには

1. イベントリストのタイトルバーで [**イベント全体確認**( )]ボタンをクリックします。
2. 確認されていないイベントがすべて確認状態になります。
   確認されたイベントの場合、アイコン右側の未確認表示が消えます。

イベントリストのスクロールをロックするには

1. イベントリストのタイトルバーで [**スクロールロック** ( )] ボタンをクリックします。
   スクロールがロックされると、イベントが発生してもスクロールバーは動きません。
2. スクロールロックを解除するには、ボタンを再度クリックします。
   解除されると、**スクロールロック**の青色が消えます。

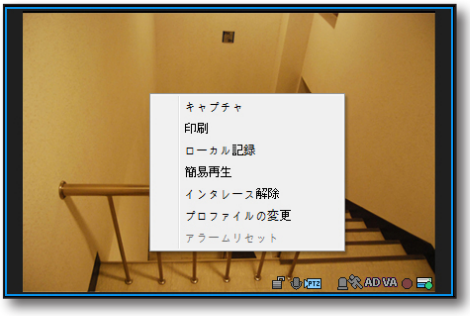
イベントリストを削除するには

1. イベントリストから削除するイベントを選択します。
2. イベントリストのタイトルバーで [**削除**( )] ボタンをクリックすると、リストが削除されます。

- 未確認イベントは削除されません。
- イベントのリストはログで確認できます。

最新のイベント映像を手動で再生するには

1. タイルから、検索するチャンネルを選択します。
2. チャンネルを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、[**簡易再生**]を選択します。
   イベントの受信ウィンドウが表示されます。



デバイス状態情報のリスト

デバイスの状態を確認できます。

状態情報を確認するには

1. デバイスステータスリストを選択します。
2. デバイスの状態を確認します。
   デバイス状態、デバイス名および発生時間を表示します。



デバイス状態のアイコン説明

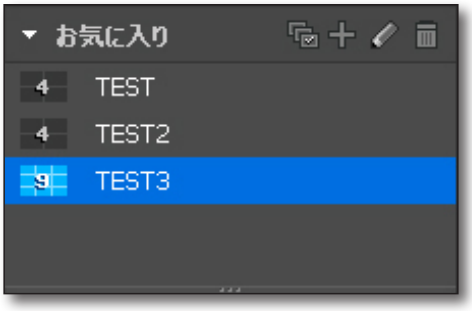
1. : HDD録画の開始
2. : HDD障害 / HDDフル / HDD なし
3. : HDD録画の停止
4. : デバイスから切断
5. : 接続の成功/失敗

お気に入りリスト

お気に入りを使用して、現在の画面分割モード設定およびカメラの映像を保存します。
お気に入り機能は、グループにアクセスする場合のみ使用可能です。

お気に入り項目を追加するには

1. お気に入りタイトルバーで、[**追加** ( )] ボタンをクリックします。
   あなたがお気に入りの商品の10個まで追加できます。
2. 名前を入力し、キーボードの[**Enter**] キーを押します。
   現在の画面分割モードおよび配置したカメラの映像情報が入力した名前で保存されます。



- お気に入りリストは10個まで登録できます。
- あなたが好きな10のリストに追加することができます。
- カメラが起動していない場合は、ビデオがお気に入りに追加されても画像が表示されません。

お気に入り名前の変更

1. お気に入りタイトルバーで、[**変更** ( )] ボタンをクリックします。
2. 選択したお気に入り項目の名前を変更します。

お気に入り項目を呼び出しするには

1. お気に入りリストで、呼び出しする項目をダブルクリックします。
2. 選択した項目のお気に入りコンテンツが画面に適用されます。

お気に入り項目を削除するには

1. お気に入りリストで、削除する項目を選択します。
2. お気に入りタイトルバーで、[**削除**] ボタンをクリックします。
   選択した項目が削除されます。

お気に入り項目を切り替えるには

1. お気に入りタイトルバーで、[**シーケンス** ( )]ボタンをクリックします。
2. お気に入りに登録した項目が設定した間隔で画面に1つずつ表示されます。
   最後の項目が表示された後、画面は最初の項目に戻ります。

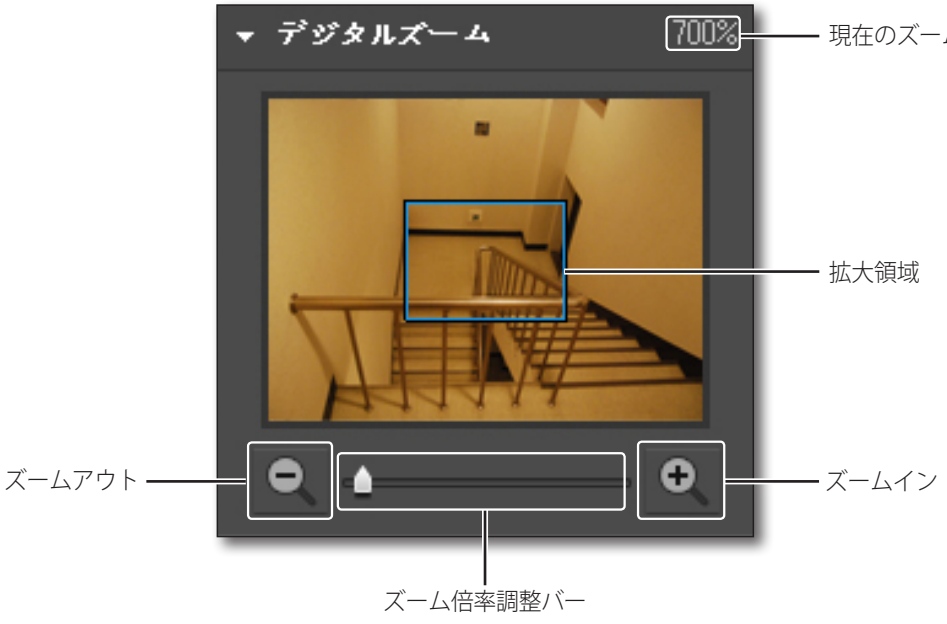
- お気に入り項目のシーケンスモードでは、接続の切断、音声のリスン、拡大/縮小、画面分割モード変更、画面シーケンス、デジタルズーム、PTZ制御、お気に入りの保存、お気に入りの削除などの機能は使用できません。

デジタルズーム

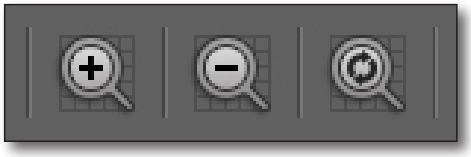
デジタルズームにより、拡大機能を使用して画面の画像を拡大します。
画面上で見える映像の拡大なので、レンズの光学ズームとは異なります。
デジタルズームの最大倍率は、100倍（10000%）です。

デジタルズームの各項目の名前および機能

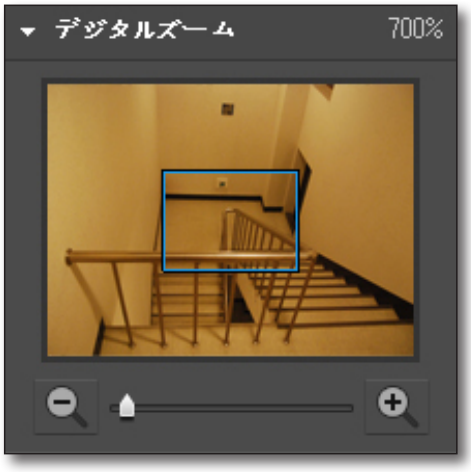
ズーム用としては、「デジタルズーム」リストウィンドウのボタンのほか、映像ウィンドウの下部にあるボタンを使用できます。



デジタルズーム領域を選択するには



1. 画面下の [**拡大**( )] ボタンをクリックします。
   マウスポインタの形が [+] に切り替わります。
2. ズームインする画像をクリックするか、拡大する領域を選択します。
   選択した画像がクリックするごとに100%ずつ拡大されます。領域を選択した場合、この領域が画面一杯になります。
3. 拡大ボタンを再度クリックします。
   マウスポインタの形が通常に切り替わり、ズームインモードが解除されます。



デジタルズームアウト

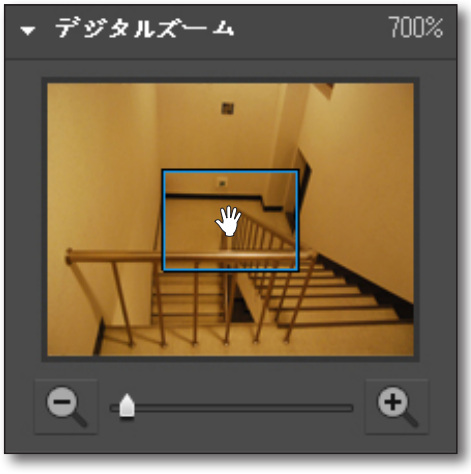
1. 画面下の [**縮小**( )] ボタンをクリックします。
   マウスポインタの形が [–] に切り替わります。
2. 画像を選択します。
   選択した画像がクリックするごとに100%ずつ縮小されます。
3. 縮小ボタンを再度クリックします。
   マウスポインタの形が通常に切り替わり、ズームアウトモードが解除されます。

デジタルズームを終了するには

1. 画面下の [**元のサイズ** ( )] ボタンをクリックします。
2. 選択した領域がデフォルトサイズに戻り、デジタルズームモードが解除されます。

パンニングカーソルを使用して画面領域を移動するには

1. ズームインモードで、拡大画面上の領域ボックスまでカーソルを移動します。
   カーソルがパンニングカーソルに切り替わります。
2. マウスボタンを押したまま、移動したい場所に領域ボックスを移動します。

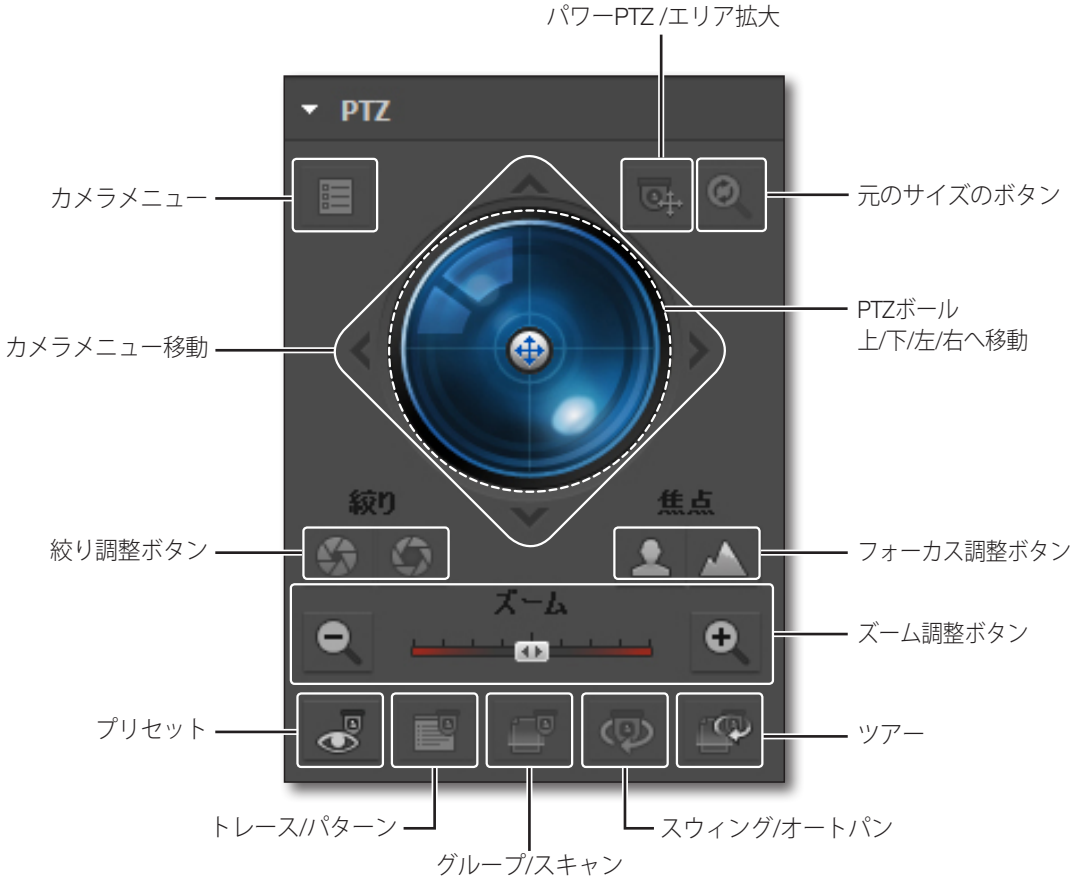


PTZコントロール

接続したデバイスがPTZ機能をサポートしている場合、PTZカメラをリモートで制御できます。

■ モデルによっては、PTZ機能をサポートしないカメラもあります。 詳細は、カメラのユーザーマニュアルでご確認してください。

PTZコントロールウィンドウの各項目の名前および機能



カメラメニューを設定するには

カメラメニューボタンをクリックして画面上にカメラメニューの表示を切り替えます。

1. PTZボール周りの方向ボタンを使用して、設定するメニューに移動します。

2. メニューを選択するには、そのままPTZボールをクリックします。

パワーPTZのコントロール

パワーPTZはトグルで制御されます。パワーPTZが選択されている場合、ビデオ画面でクリックした位置が映像の中心に移動します。

エリアズームのコントロール

1. エリアズームはトグルで制御されます。 エリアズームが選択されている場合は、ビデオ画面でクリックした位置が映像の中央に移動します。
2. 拡大表示する領域が、マウスを使って選択された場合、ズーム機能で選択されたエリアがズームされます。

方向を制御するには

クリックする位置が中央に近いほど、その方向にゆっくり移動します。クリックする位置が中央から遠いほど、より速く移動します。

- 左側の領域をクリックし続けると映像は反時計回りに回転し、右側の領域をクリックし続けると映像は時計回りに回転します。

絞りを調整するには

光量レベルを調整します。

- 絞りクローズ : 絞りの数値が大きくなり光量が小さくなって、映像が暗くなります。
- 絞りオープン : 絞りの数値が小さくなり光量が多きくなって、映像が明るくなります。

焦点を調整するには

焦点を手動で調整します。

- フォーカスニア : フォーカスを近くに合わせます。
- フォーカスファー : フォーカスを遠くに合わせます。

ズームを制御するには

1. Live画面でPTZカメラを選択します。
2. ズームスライドバーをクリックします。
   画像のズームを制御できます。
   - 中央から右側をクリックすると、映像を拡大します。クリックする位置が遠いほど、拡大フォーカスはより速く移動します。
   - 中央から左側をクリックすると、映像を縮小します。クリックする位置が遠いほど、縮小フォーカスはより速く移動します。

プリセットを制御するには

カメラの特定の位置を事前に保存したり、保存された位置に移動できます。

プリセットボタンをクリックすると、カメラのプリセットリストが表示されます。



- プリセットは最大255個まで追加できます。(ただし、あらかじめ設定されているプリセットの最大カウントはデバイスによって異なる場合があります。)

- リスト内のプリセット項目を選択すると、保存されたプリセット位置にカメラの焦点が移動します。
- [**追加**] ボタンをクリックして、現在の位置をプリセットとして保存することができます。
- [**変更**] ボタンをクリックして、名前を変更することができます。
- リスト内の項目を選択して [**削除**] ボタンをクリックすると、選択した項目がリストから削除されます。

グループ/スキャンを制御するには

スキャンを使用すると、プリセットリスト内の項目を自動で1つずつ移動できます。
使用できるオプションは、[**スキャン**] 機能の有効化/無効化の2つのみです。

スウィング/オートパンを制御するには

オートパンを使用すると、特定の異なる2点間の移動が繰り返されます。

機能設定によって回転または区間の繰り返しが可能です。

使用できるオプションは、[**オートパン**] 機能の有効化/無効化の2つのみです。

トレース/パターンを制御するには

パターンにより、事前定義された移動およびカメラのズームを実行します。

使用できるオプションは、[**パターン**] 機能の有効化/無効化の2つのみです。

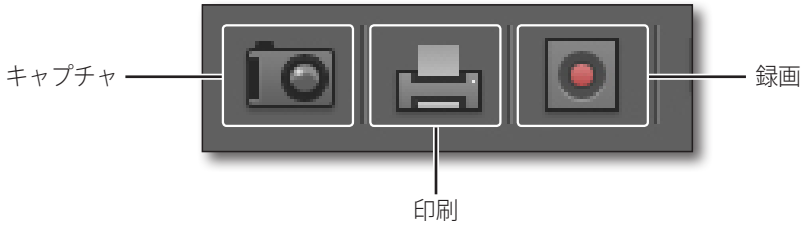
ツアーを設定するには

この機能では、グループを呼び出し、グループに指定されたプリセットを順番に呼び出して監視します。

カメラに設定されている[**ツアー**]機能の有効化/無効化のみを選択できます。

LIVE VIEWERの映像を制御するには

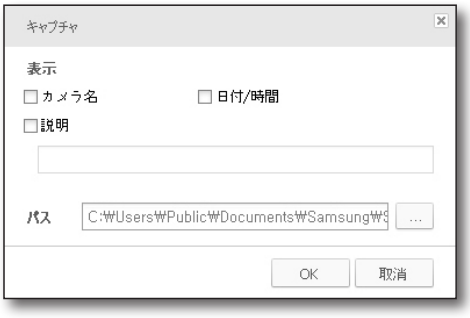
選択したカメラのライブ画面上の映像を保存、印刷または録画できます。



画面を保存するには

ライブ画面上の映像を画像フォーマットで保存します。
カメラのタイトル、録画の日付/時間、およびビデオの説明を選択して表示し、保存パスを指定することができます。

1. ライブ画面の下部にある [**キャプチャ** ( )] ボタンをクリックします。
2. 選択した映像は、ファイルパスを示すポップアップメ画面上に表示する項目を選択します。
3. [**パスの設定** ( )] をクリックし、保存パスを指定します。
4. [**OK**]をクリックします。
   指定したパスに画面が保存されます。

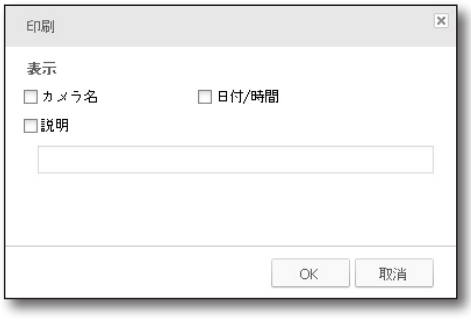


- タイルのコンテキストメニューを使用して画面を保存することができます。

画面を印刷するには

接続したプリンタを使用してライブ画面上の映像を印刷します。
カメラのタイトル、録画の日付/時間、および印刷画面の説明を選択して表示することができます。

1. ライブ画面の下部にある [**印刷** ( )] ボタンをクリックします。
2. "**印刷**"ダイアログが表示されるので、画面に表示する項目を選択します。
3. [**OK**]をクリックします。
   PCに指定されているプリンタを使用して、選択した画面が印刷されます。
   - 印刷権限のないユーザーは、ログイン後に印刷することはできません。



- タイルのコンテキストメニューを使用して画面を印刷することができます。

録画

選択したライブ画面上の映像を動画で録画します。
映像は、専用ビューワーとともに独自のフォーマットで保存されます。

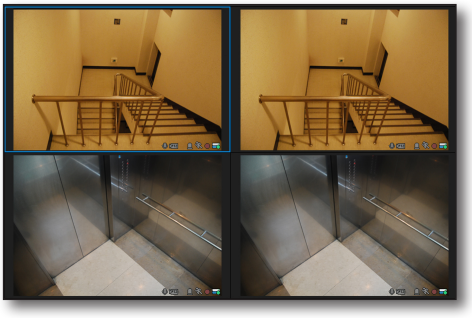
1. ライブ画面の下部にある [**録画** ( )] ボタンをクリックします。
2. 選択した映像画面の録画が開始されると、録画アイコンが有効になります。
3. 録画を停止するには、録画ボタンを再度クリックします。

- 録画は一度に一つの映像を最大 2 時間まで録画可能です。最大録画時間は設定メニューで変更できます。
- 設定した録画時間が終わると、録画は自動的に停止します。
- シーケンスモードの場合、録画機能は使用できません。
- 現在の録画画面から別の画面に移動したり、ビューワーを変更したり、アプリケーションを閉じると、警告メッセージが表示されます。



全画面にするには

1. ライブ画面の下部にある [**全画面** ( )] ボタンをクリックします。
   現在の映像が全画面に拡大されます。
2. 全画面モードを終了するには、キーボードの [**Esc**] キーを押します。



分割モードを選択するには

ライブ画面の分割モードを選択できます。

- 4:3 縦横比 : 1/4/9/16/25/36



- 16:9 縦横比 : 1/6/12/20/30



映像オートシーケンス

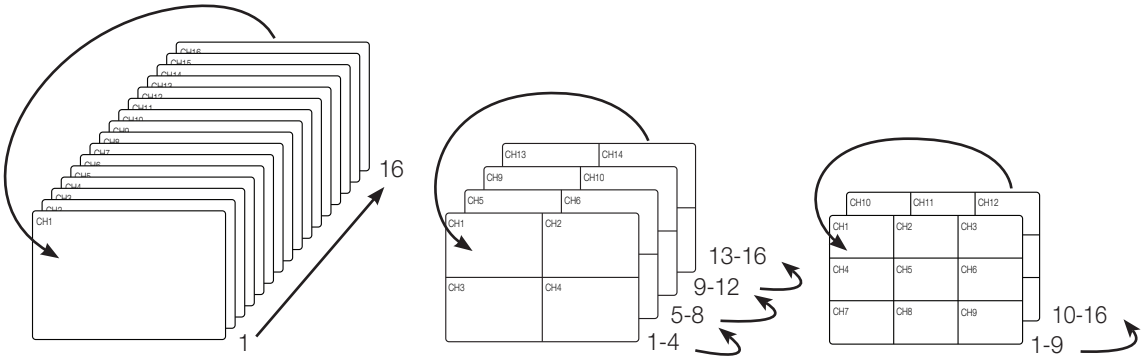
ライブ画面を自動的に切替ます。

接続したカメラの数が分割画面より多い場合、分割画面と同じ数のカメラが最初のシーケンスに表示され、残りのカメラは順に後続のシーケンスに表示されます。

1. ライブ画面の下部にある [**シーケンス** ( )] ボタンをクリックします。
   現在の分割モードに合わせて自動シーケンスが実行されます。
2. オートシーケンスモードを終了するには、シーケンスボタンを再度クリックします。

- シーケンス間隔は、"**設定** > **ビューワー** > **オプション** > **シーケンス**" で変更できます。 (41ページ)
- オートシーケンスモードでは、接続の切断、音声のリスン、拡大/縮小、画面分割モード変更、画面シーケンス、デジタルズーム、PTZ制御、お気に入りの保存、お気に入りの削除などの機能は使用できません。

例) 2つのデバイスが接続されている場合は、デバイス1には16台のカメラが接続され、デバイス2には9分割画面モードで8台のカメラに接続されます。モニターの画面は次のように表示されます：
デバイスの1の＃1～＃9のカメラ → デバイス１の＃10～＃16のカメラ+デバイス２の＃1～＃２のカメラ → デバイス２の＃3～＃8のカメラ

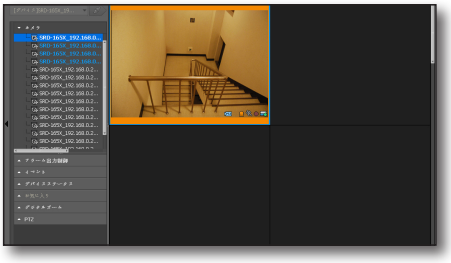


単画面モード　4分割モード　9分割モード

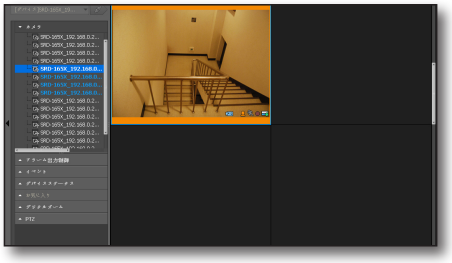
スクロール表示

現在接続されているカメラの数が選択したタイルパターンの数より多い場合は、スクロールバーを使用して前後の映像に移動します。

例) 2 台の4CHデバイスセットが2x2のタイルに接続されている場合は、合計8つのビデオが表示できます。
リストをスクロールアップまたはダウンして一度に4つのビデオを見ることができます。



< 1 CH ~ 4 CH >



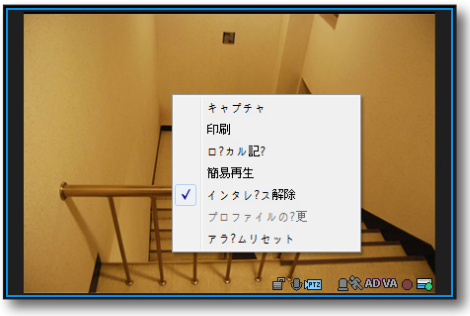
< 5 CH ~ 8 CH >

■ スクロールバーを上下してリスト内で前後の映像に移動します。

映像のインタレース解除を適用するには

チャンネルごと、またはユーザー定義にインタレース解除の適用を設定することができます。

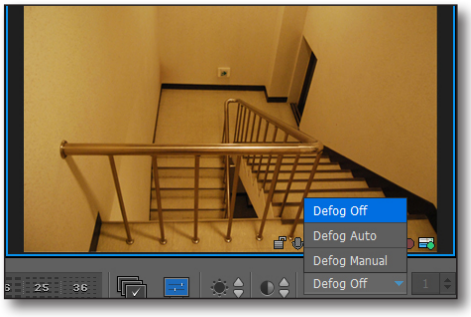
1. 目的のカメラのビデオを選択します。
2. チャンネルを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、[**インタレース解除**]を選択します。
選択したチャンネルにインタレース解除が適用されます。
チャンネルにインタレース解除がすでに適用されている場合は、インタレース解除が解除されます。



ビデオに曇り除去を適用する。

曇り除去機能をサポートしているデバイスには、その機能を設定することができます。

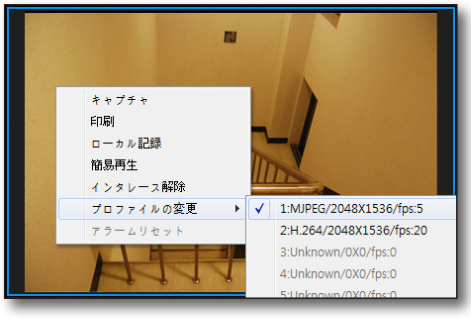
1. カメラからビデオを選択します。
2. ビデオウィンドウの下部にある[**Defog**]メニューをクリックします。
   <**Off**/**Auto**/**Manual**> のいずれから選択できます。
   曇り除去モードが <**Auto**> または <**Manual**> として設定されている場合は、曇り除去レベルを選択することができます。



プロファイルの追加

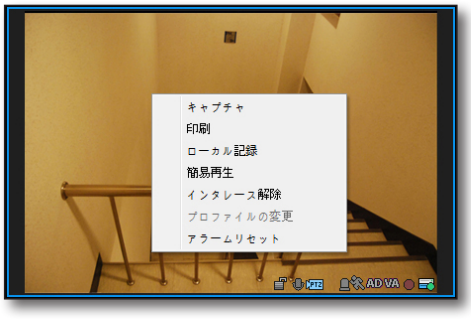
登録されたデバイスがネットワークカメラの場合、プロファイルを変更することができます。

1. カメラからビデオを選択します。
2. マウスを右クリックして、コンテキストメニューを表示します。メニューから [**プロファイルの変更**]を選択します。
3. 右側に表示されるプロファイルリストに選択したビデオプロファイルを表示することができます。



アラームのリセット

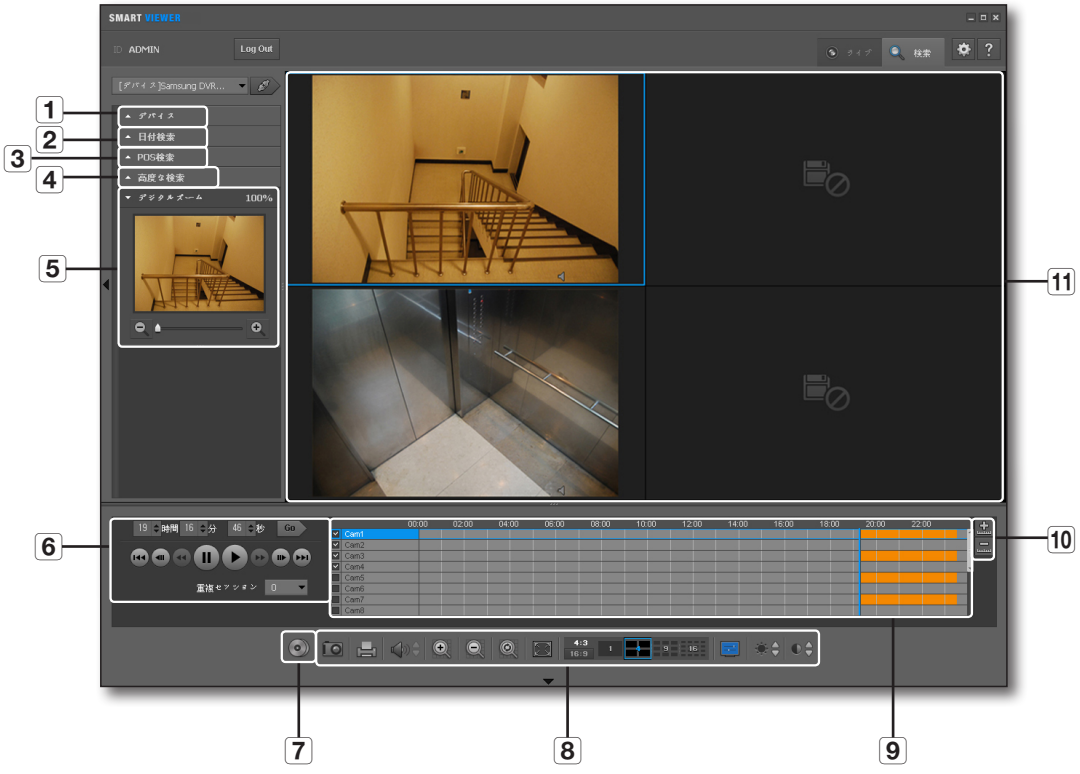
デバイスのイベント状態が初期化されると、アラームがクリアされます。
ビデオウィンドウ内でマウスを右クリックしてコンテキストメニューを表示します。 メニューから[**アラームリセット**]を選択します。



search viewer

SmartViewerのメイン画面の右上で、[**検索**] タブをクリックします。

SEARCH VIEWER の各項目の名前および機能



項目		説明
1	デバイスリスト	検索可能なデバイスのリストを表示します。
2	日付検索	録画データを日付で検索します。
3	POS検索	時刻情報およびキーワードを使用してPOSの使用履歴を検索します。
4	高度な検索	選択可能な検索オプションを表示します。
5	デジタルズーム	デジタルズーム画像を表示します。
6	時間検索/再生バー	検索時間を指定し、見つかったデータを再生できます。
7	バックアップ	設定した時間範囲のデータをバックアップできます。
8	映像画面コントロールバー	映像画面を制御します。 詳細は、"**Live Viewerの各項目の名前および機能**"を参照してください。 (12ページ)
9	タイムライン	検索結果の保存区間を色バーを使用して表示します。
10	拡大/縮小	検索結果の時間範囲を拡大または縮小します。
11	映像画面	検索した録画データの映像を表示します。

映像入力状態の表示

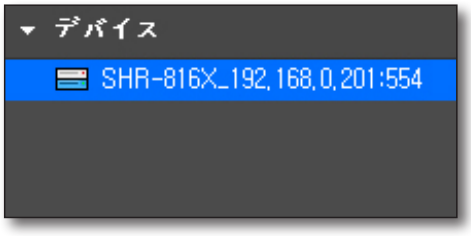
映像画面に表示される情報によって状態を確認できます。

1. : データなし
2. : 接続切断
3. : 同時接続ユーザー数を超えています

デバイスリスト

デバイスリストから、検索するデバイスを選択できます。

1. 登録されているデバイスのリストを確認します。
2. 検索するグループまたはデバイスを選択して接続します。

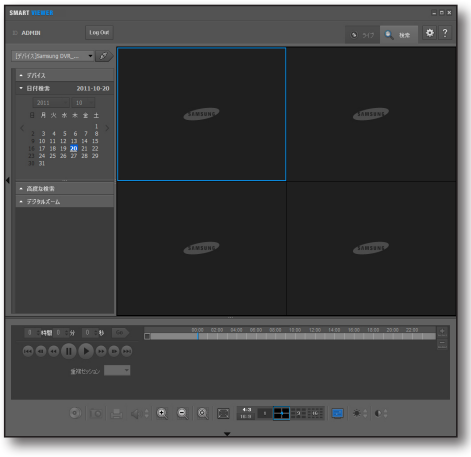


■ 検索モードにアクセスすると、一番目のデバイスが自動的に選択されます。

日付検索

カレンダーに録画データの日付履歴が表示されます。

1. 日付検索メニューをクリックします。
   カレンダーが表示されます。
2. 検索する年と月を選択します。
   録画データがある日付が青色で表示されます。
3. 検索する日付を選択します。
   選択した日付の録画詳細が検索結果表示領域に表示されます。

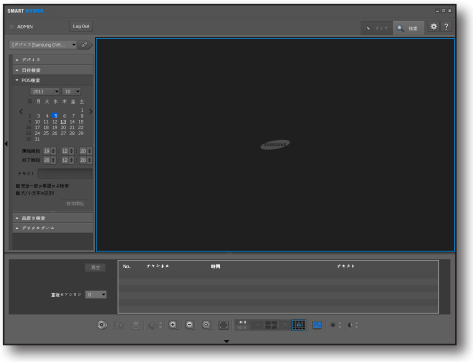


search viewer

POS検索

時刻情報およびキーワードを使用してPOSの使用履歴を検索することができます。

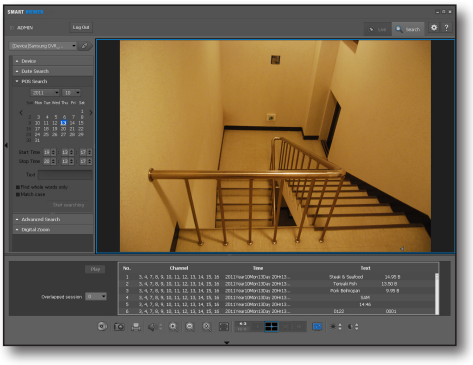
検索を実行するには



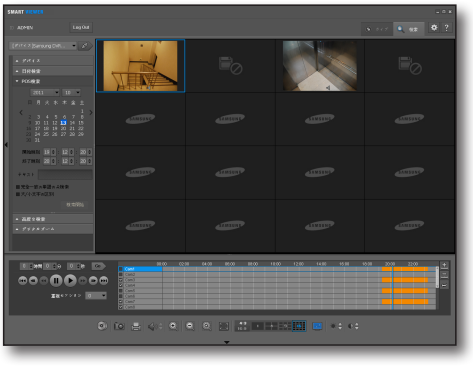
1. 年、月、日および時刻を含む時刻情報を指定します。
2. 検索対象のキーワードを入力します。
   - 完全一致の単語のみ検索: このオプションが選択されていない場合、文字間のスペースはANDだと見なされます。例) “2500WON cash”と入力すると、検索の結果、“2500WON”と“cash”の両方が含まれるデータ項目のみが見つかります。
   - 大/小文字の区別: 選択すると、大文字と小文字を区別して検索されます。
3. <**検索**>をクリックします。

検索結果を表示するには

リストの下にある項目を選択してサムネイルを確認し、必要に応じてビデオを再生します。



1. 検索ペインで、再生するビデオ項目を選択します。
   デバイスからの時間変化に起因する重複したセクションが発生した場合には、重複のインデックスが作成されます。
2. 重複セクションが存在する場合、重複セクションの数を選択します。
   重複セクションが複数存在する場合、最初の録画データ項目を“0”として最大16の項目のリストが表示されます。



3. 検索する項目をダブルクリックします。
   POS検索の結果の1つに複数の接続済カメラが含まれる場合、リスト内の最初のカメラのサムネイルのみが表示されます。
4. 複数のカメラが接続されている場合、選択したカメラのチェックボックスを選択し、再生をクリックします。
   POS検索の結果の1つに複数の接続済カメラが含まれる場合、すべての接続済カメラから同時にビデオを再生することができます。
   例) 3台のカメラが接続されている場合、2x2の分割画面で3つのビデオを再生することができます。

■ POS検索モードでは、データのバックアップは無効になります。

高度な検索

録画タイプに応じて検索を絞り込むことができます。

1. 高度な検索メニューをクリックします。
   検索条件が表示されます。
2. 検索する項目を選択します。

- すべて : 選択したデバイスのすべてのカメラ映像が検索できます。
- 手動、アラーム、モーション、ビデオ・ロス、スケジュール、 インテリジェント映像分析、サウンド検出 : 検索は現在の画面で実行され、このモードは1チャネル単画面に切り替わります。

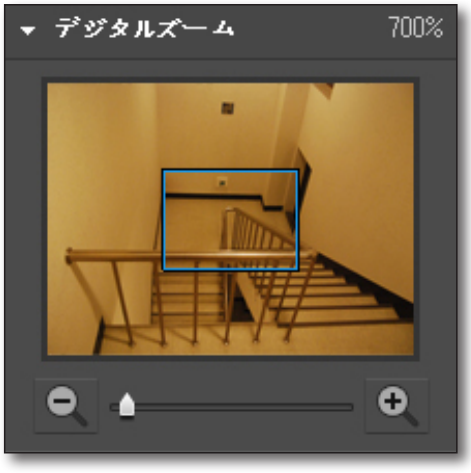


デジタルズーム

デジタルズームにより、拡大機能を使用して画面の画像を拡大します。

1. デジタルズーム選択バーをクリックします。
2. カメラ映像を選択してダブルクリックします。
   選択したカメラ映像がデジタルズーム画面に表示されます。

■ デジタルズーム機能を使用するには、"**デジタルズーム**"を参照してください。（22ページ）



再生データの検索

再生時間を指定するには

結果表示領域の青い垂直線は、映像の再生時間を示します。

1. 検索する時間を設定します。
2. 右側の[Go]ボタンをクリックします。
   再生時間が設定した時間に切り替わります



■ 青い垂直線をドラッグすると、再生時間が変更されます。
■ 左下にある時間情報は、現在の再生時間を示します。

再生するカメラを選択するには

結果表示領域でカメラをダブルクリックすると、選択したカメラの映像が追加されます。

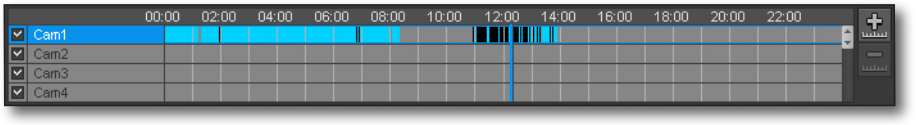
タイムラインのデフォルトは4チャネルです。ここでは、領域を拡大したり、スクロールバーを使用して最大16チャネルを検索対象として追加できます。



1. 結果表示領域でカメラをダブルクリックするか、選択するカメラのチェックボックスを選択します。
2. 最初の空の画面から順に、選択したカメラの映像が表示されます。

- 結果表示領域のカメラを映像ウィンドウにドラッグアンドドロップすると、選択した映像ウィンドウにカメラ映像が追加されます。

再生時間を拡大するには



< 24 時間表示 >



<1 時間表示 >

1. 結果表示領域の右側にある [**拡大** ( )] ボタンをクリックします。
2. 再生タイムラインに基づいて、再生時間が24時間→12時間→6時間→2時間→1時間に拡大されます。再生時間が1時間になると、拡大ボタンが無効になり、縮小ボタンが有効になります。

再生時間を縮小するには

1. 結果表示領域の右側にある [**縮小** ( )] ボタンをクリックします。
2. 再生タイムラインに基づいて、再生時間が1時間→2時間→6時間→12時間→24時間に縮小されます。
   再生時間が24時間になると、縮小ボタンが無効になり、拡大ボタンが有効になります。



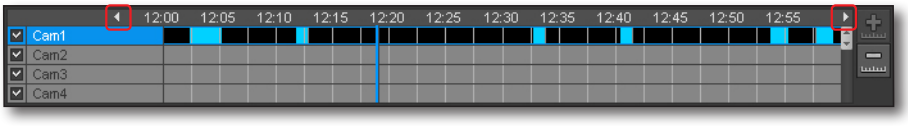
• 録画範囲は、録画理由に応じて別の色で表示されます。

- 黒 : 手動録画
- オレンジ : イベントによる録画
- 青 : モーションによる録画
- ピンク : ビデオ・ロス
- 黄緑 : スケジュール録画
- 紫 : インテリジェント映像分析
- スカイブルー : サウンド検出

再生タイムラインを移動するには

録画データを検索すると、現在選択された時間位置を再生タイムラインとして表示します。

1. 検索するデータを選択します。
   現在選択された時間位置を再生タイムラインとして表示します。
2. 再生タイムラインをクリックし、目的の開始時刻までドラッグアンドドロップします。
   再生時間表を拡大した場合、[**移動** (,)] ボタンを使用して再生時間を前後に移動します。

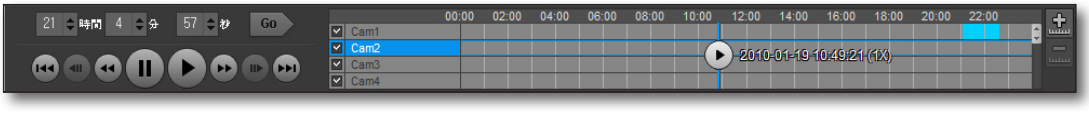


■ 再生時間表を拡大した場合、矢印ボタンを使用して前の時刻に移動した後に前の時刻の終わり地点にある後の時刻に移動すると、タイムラインはちょうど開始ポイントの位置になります。

再生コントロール

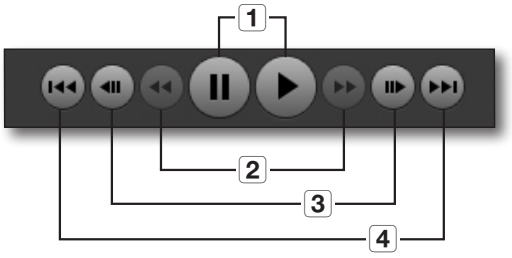
検索した映像の再生を一時的に停止したり、再生速度を制御できます。

再生



1. 再生するデータを選択し、[**再生** ( )] ボタンをクリックします。
   現在の再生速度が再生時間ステータスバーに表示されます。
2. 各再生ボタンを使用して映像の再生速度を変更できます。

再生ボタンの名前および機能



1. 再生および一時停止
2. 早送り/早戻し（一時停止モードの場合は無効）
   ボタンがクリックされるたびに、ビデオ速度が、x2、x4、x8、x16、x32、およびx64の順番あるいはその逆の順序で再生されます。
3. フレームアドバンス/リバースフレームアドバンス
   映像はフレーム単位で再生されます。 再生中はボタンは無効になります。
4. スキップ/スキップ戻し
   イベント間の再生をスキップします。

バックアップ

プログラムが現在実行されているPCにバックアップができます。

検索したビデオをバックアップするには

スキャンしたチャンネルの複数のビデオを同時にバックアップすることができます。



1. [**バックアップ** ( )] ボタンをクリックします。
   バックアップ用のダイアログが表示されます。
2. バックアップダイアログで、バックアップするチャンネルを選択します。
   これにより、時間設定オプションが有効になります。
3. 必要に応じて、開始および終了時間を指定します。
4. [**開始**] ボタンをクリックしてバックアップを開始します。
5. バックアップを停止するには、[**中止**] ボタンをクリックします。
6. バックアップを終了するには、[**閉じる**] ボタンをクリックします。
   ウィンドウが閉じられる前にそれまでバックアップされたデータが保存されます。

- バックアップフォーマットとしては、"**sec**" 形式のみ支援します。 バックアップデータを再生するバックアップビューワーがバックアップデータと同じ名前で保存されます。 ビューワーを起動することによりバックアップデータをすぐ確認できます。

バックアップを再開するには

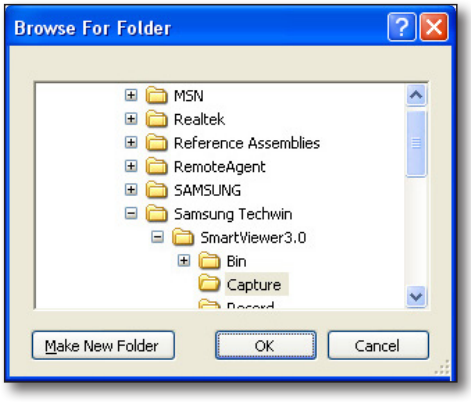
バックアップを停止すると、後で停止した時点からバックアップを再開することができます。

1. バックアップ画面を終了するには、単に[**後で続行**]をクリックします。
   現在のバックアップが停止し、バックアップ画面が閉じられます。
2. [**バックアップ** ( )] をクリックします。.
   最後に操作したバックアップ画面が再表示されます。
3. [**開始**]をクリックします。
   最後のバックアップ操作が再開されます。

保存先を変更するには

バックアップデータの保存先を変更することができます。

1. [**パスの設定** ( )] ボタンをクリックします。
   "**Browse For Folder**" ウィンドウが表示されます。
2. バックアップパスを変更します。

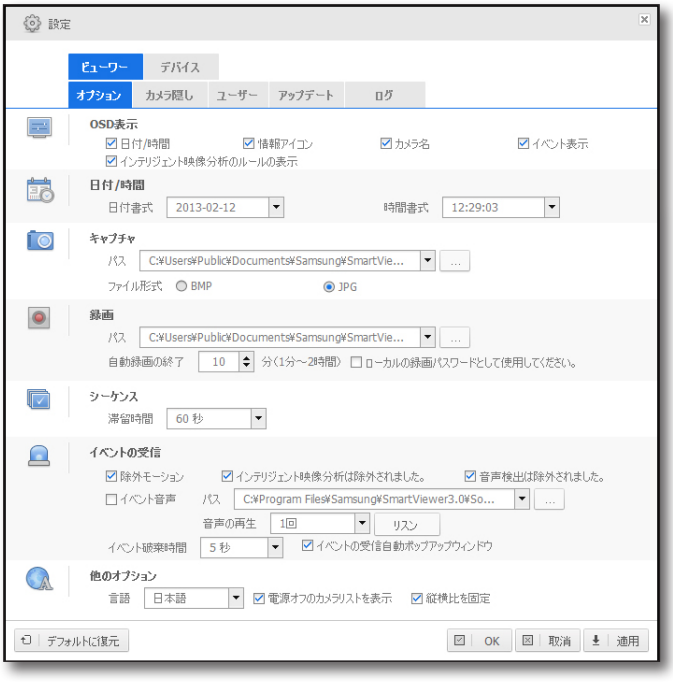


設定

プログラム画面の右上にある [**設定**( )]ボタンをクリックします。
ビューアおよびデバイスをクリックして、各機能に応じたタブを使用して設定されたセットアップ画面を表示します。
ビューアの項目から、様々なビューア関連の設定ができます。
SmartViewerに接続されたデバイスは、デバイスの項目を使用して設定または更新することができます。
設定が完了したら、[**OK**]または[**適用**]をクリックして、設定内容を適用します。

オプションタブ

Live ViewerまたはSearch Viewerを設定できます。



OSD表示

画面上の情報の表示/非表示を切り替えることができます。

日付/時間

選択すると、日付および時間情報が映像画面の上部に表示されます。

情報アイコン

選択すると、PTZ情報、スピーカー設定および録画ステータスが映像画面の下部に表示されます。

カメラ名

選択すると、カメラ名が映像画面の上部に表示されます。

イベント表示

選択すると、イベントが発生した場合、イベントが映像画面の下部に表示されます。

ンテリジェント映像分析のルールを表示

チェックボックスをクリックしてカメラのビデオ画面で設定されたビデオ解析ルールを表示します。

日付/時間

映像画面に表示される日付/時間書式を指定します。

日付書式

YYYY-MM-DD、MM-DD-YYYY および DD-MM-YYYY から1つを選択します。

時間書式

hh:mm:ss と hh:mm のいずれかを選択します。

キャプチャ

キャプチャした画面のファイル形式および保存場所を設定します。

録画

録画する映像の保存先および時間を設定します。

録画時間は1分～2時間（120分）の間で設定できます。

シーケンス

分割モードに応じてカメラ映像を順次に表示します。 グループにアクセスする際にお気に入りのシーケンスにも使用できます。

シーケンス間隔は5、10、15、20、30、40、50、60秒から選択できます。

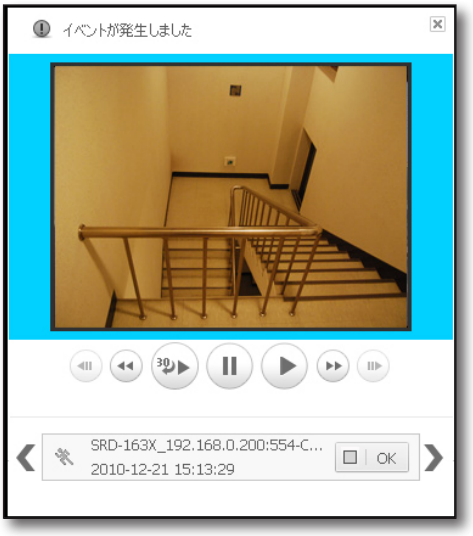
設定

イベントの受信

イベント受信の自動ポップアップウィンドウ

イベントを受信する場合にポップアップウィンドウを自動で表示できます。

選択すると、イベントが発生した際に、右の図のようなイベントの受信ウィンドウが自動にポップアップします。



除外モーション

イベントタイプの1つであるモーションイベントを受信するかを設定します。

インテリジェント映像分析は除外されました。

インテリジェント映像分析イベントの発生通知を有効化または無効化することができます。

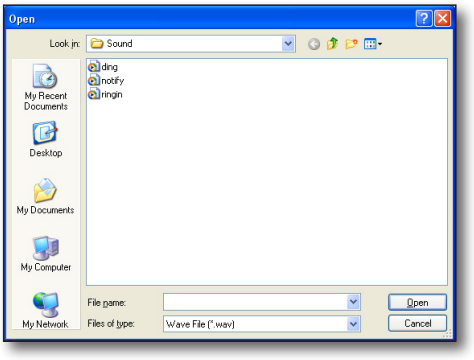
音声検出は除外されました。

音声検出イベントの発生通知を有効化または無効化することができます。

イベント音声

イベントを受信した場合に出力するイベント音声を選択できます。

音声を変更するには、[**パスの設定** (...)] ボタンをクリックします。ダイアログ画面が表示され、音声ファイルを選択できます。



音声の再生

イベントを受信した場合に音声を繰り返すことができます。

連続に設定すると、イベントを確認するまでイベント音声が連続で再生します。

イベント破棄時間

同じイベントが発生した場合にイベントを無視する時間です。 設定した時間内に同じカメラから同じタイプのイベントが発生した場合、後のイベントを破棄します。

他のオプション

言語

ビューワーで使用するOSD言語を選択できます。

サポートされている言語: 韓国語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語、日本語、トルコ語、チェコ語、ポーランド語、セルビア語、ルーマニア語、ポルトガル語、オランダ語、クロアチア語、ハンガリー語、ギリシャ語、台湾語、スウェーデン語、デンマーク語、ノルウェー語、フィンランド語。

■ 変更は即時適用されますが、既存のログ情報は前の言語のままです。

電源オフのカメラリストを表示

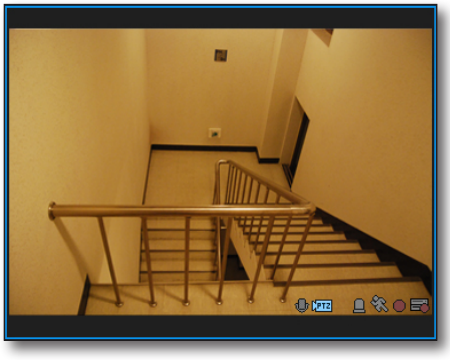
選択すると、電源オフのカメラリストが表示されます。

縦横比を固定

選択すると、映像は元のサイズで表示されます。



< 縦横比を解除 >



< 縦横比を固定 >

その他

デフォルトに復元

ビューワーのデフォルト設定に復元されます。

OK

設定をビューワーに適用して設定ウィンドウを閉じます。

取消

設定をビューワーに適用せずに設定ウィンドウを閉じます。

適用

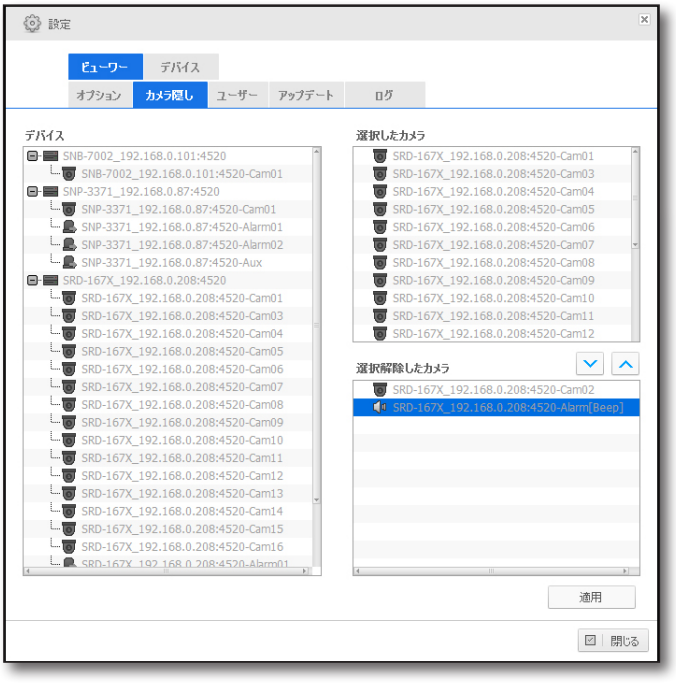
変更がビューワーに適用されます。

設定

カメラタブを非表示にする

カメラ或いはツリー内のデバイスの下にあるアラーム出力オブジェクトの表示/非表示を設定します。

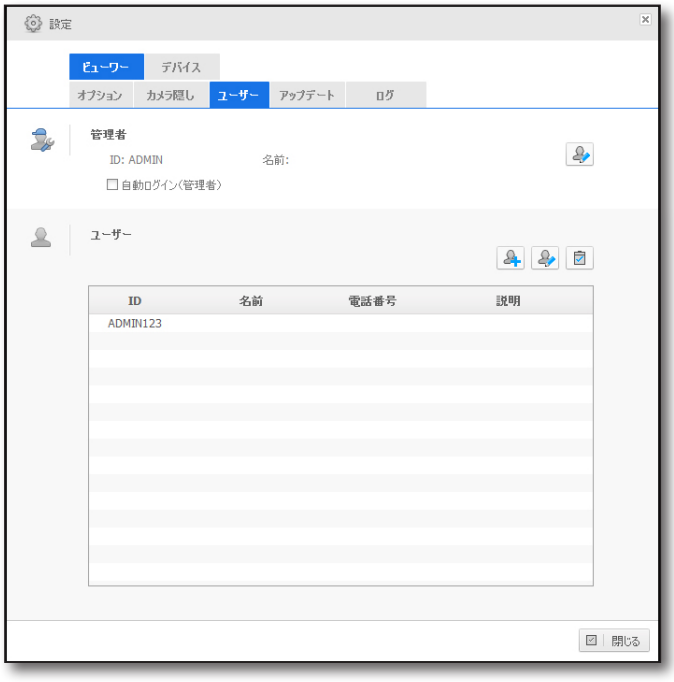
- この機能設定を選択すると、すべてのデバイスの接続が外されます。
- カメラが起動していない場合は、オブジェクト検索機能を使用してツリーからオブジェクトを検索することができません。
- カメラが起動していない場合は、イベント情報が表示されません。



ユーザータブ

ユーザーを追加または削除したり、IDまたはパスワードを変更できます。

■ 自動ログイン（admin）が設定されている場合、IDおよびパスワードを入力しなくてもSmartViewerを直接起動できます。



ユーザーリスト

ユーザーを追加するには



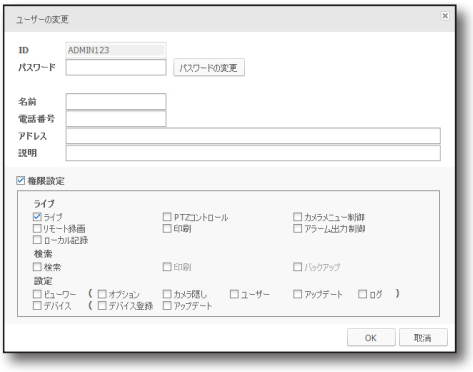
1. [**ユーザー追加**] をクリックします。
2. ログインIDを入力する
   IDには、英数字および "–" を含む最大31文字を入力できます。
3. パスワードを入力します。
   パスワードはスペースを除く8～31桁のアルファベットと数字を組み合わせでなければなりません。
4. ユーザーによっては電話番号または住所などの追加情報を入力します。
5. ユーザー権限を詳細設定するには、[**権限設定**] チェックボックスを選択し、詳細項目を選択します。
6. [**OK**] ボタンをクリックします。
   入力したIDでユーザーが追加されます。

■ "**ADMIN**" IDは、プログラムのインストール時に作成されるデフォルトのIDです。
このIDは削除できません。 ただし、パスワードは変更できます。

設定

ユーザー情報を変更するには

1. 情報を変更するユーザーを選択します。
2. [**変更**] ボタンをクリックします。
   ユーザー情報を変更できます。

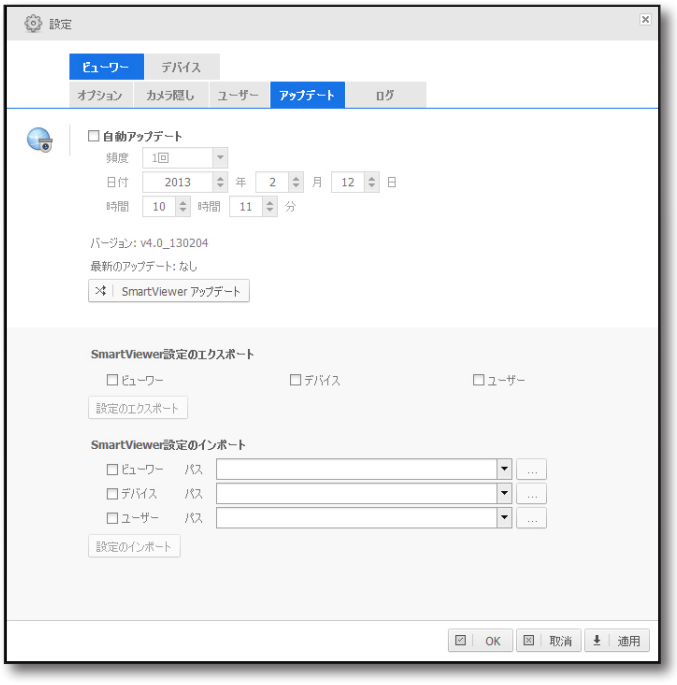


ユーザーを削除するには

1. 削除するユーザーを選択します。
2. [**削除**] ボタンをクリックします。
   選択したユーザー情報が削除されます。

ビューア - アップデートタブ

リモートアップデートサーバとエクスポートまたはインポート設定によりSmartViewerを更新します。



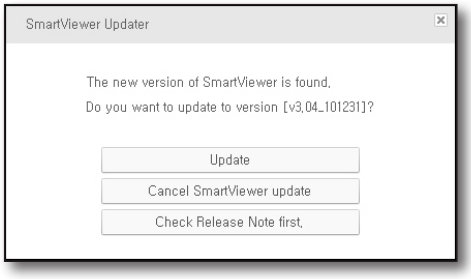
自動アップデート

自動アップデートが選択されると、詳細設定によってサーバーに最新バージョンがあるが確認します。

アップデートサーバーの確認間隔を指定するには

アップデートサーバーの確認間隔を指定できます。

1. 間隔と日付を設定します。
   1回/毎日/毎週/毎月から1つを選択します。選択内容に応じて日付/時刻を設定できます。
2. アップデートサーバーの確認時に最新バージョンが見つかった場合、ユーザーにその旨通知してユーザーの確認によってアップデートが実行されます。
3. [**アップデート**] ボタンをクリックします。
   自動アップデート設定とは関係なく、アップデートサーバーに最新バージョンがあるかどうかを確認します。



SmartViewer 設定の管理

SmartViewer 設定ファイルをエクスポートできます。

SmartViewer 設定情報のエクスポート

SmartViewer 設定情報をファイルとして保存できます。

1. チェックボックスを選択し、設定項目を選択します。
2. 項目の保存パスを指定します。
3. ファイル名を設定して[**設定のエクスポート**]ボタンをクリックします。
   設定情報がファイルとして保存され、結果をメッセージポップアップに表示します。

SmartViewer 設定のインポート

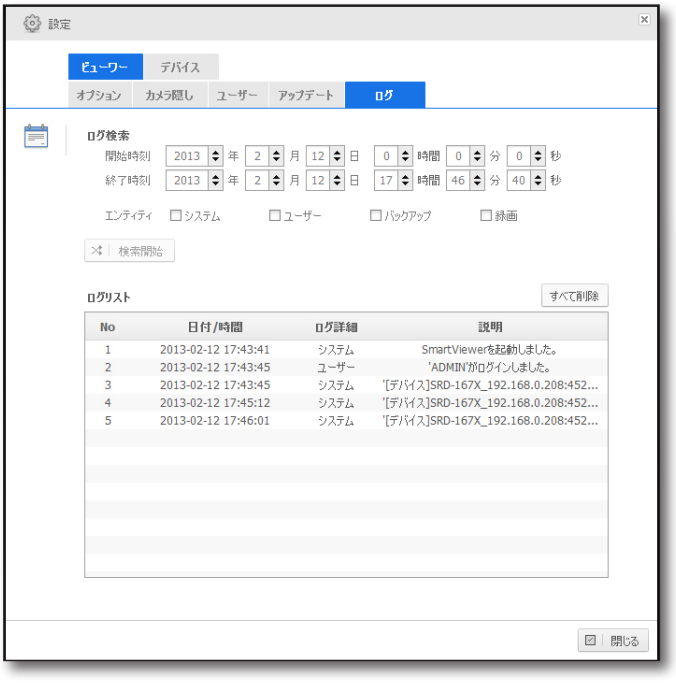
SmartViewer 設定情報をファイルから読み取ることができます。

1. インポートする設定項目を選択します。
2. 保存されたファイルを選択します。
3. [**設定のインポート**] ボタンをクリックします。
   設定情報がファイルから読み取られます。

設定

ログ情報タブ

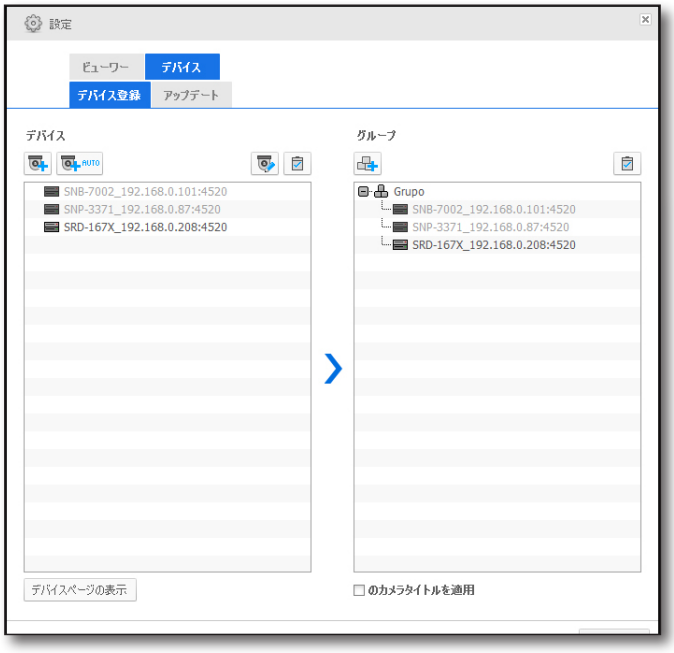
システム関連ログ情報を発生時間および項目別に検索できます。



1. ログ検索の開始および終了時間を設定します。
2. ログ項目のチェックボックスをクリックして項目を選択します。
3. [**検索開始**] ボタンをクリックします。
   ログ情報がログリストに表示されます。
4. 検索したログのリストを削除するには、[**すべて削除**] ボタンをクリックします。

デバイス登録タブ

デバイスの追加、登録されているデバイスリストの確認、またはデバイス設定の変更を行うことができます。



- <**のカメラタイトルを適用**> を選択し、該当するデバイスまたは該当するデバイスが含まれるグループにログインおよびアクセスすると、対応するDVRに登録されたデバイス名がデバイス/カメラ名のリストに表示されます。

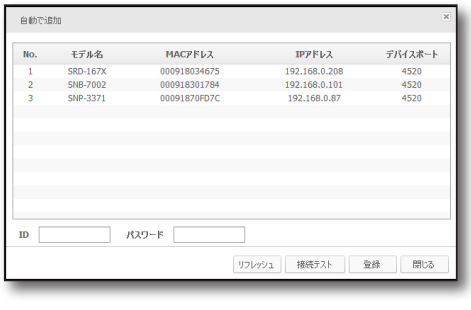
デバイスリスト

登録されているデバイスのリストが表示されます。

デバイスを自動で追加するには

ローカルネットワークに接続されているデバイスを自動検索して登録することができます。

1. [**自動で追加**] ボタンをクリックします。
   ローカルネットワークに接続されているすべてのデバイスのリストが "**自動で追加**" ウィンドウに表示されます。
   登録されているデバイスは灰色で表示されます。
2. 登録するデバイスをリストから選択します。
3. ユーザーIDとパスワードを入力して、[**登録**] ボタンを押します。
   ユーザーIDおよびパスワードは、登録するデバイスに保存されている情報です。



- プログラムでは、登録時にユーザー情報が正しいかどうかは確認しません。
- ユーザー情報が正しいかどうかを確認するには、[**接続テスト**] ボタンをクリックして確認できます。
- 接続テスト中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。

設定

デバイスを手動で追加するには

接続するデバイスの情報を手動で入力して登録することができます。

1. [**手動で追加**] ボタンをクリックします。
   "**手動で追加**"が表示されます。
2. 接続するデバイスのモデル名を選択します。
   製品のモデルがリストに含まれていない場合には、統合されたサムスンのモデル名（サムスンDVR、サムスンネットワークカメラ/エンコーダ、サムスンNVR）を選択することにより登録が有効になります。
   - 詳細は、該当するデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。



3. アドレスタイプを選択します。
   使用可能なアドレスの形式は、次のいずれかです：IPアドレス、URL、websamsung.net、ddns.s1.co.kr、samsungipolis.com。
4. デバイスの接続に必要な情報を設定します。
   この情報は、アドレスタイプによって異なります。
5. ユーザーIDとパスワードを入力します。
   ユーザーIDおよびパスワードは、登録するデバイスに設定されている情報です。



6. [**接続テスト**] をクリックします。
   ユーザーが入力した情報を使用して接続テストを実行します。
   接続テスト中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。
7. [**登録**]ボタンをクリックします。

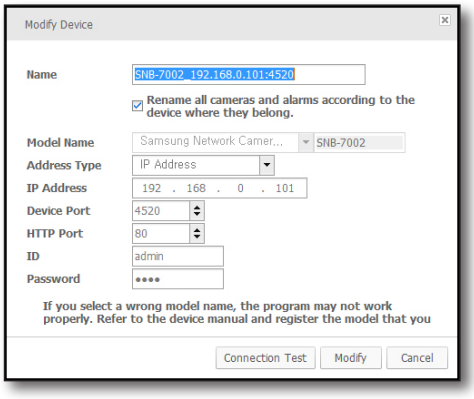
接続エラータイプ

- パラメータエラー : パラメータが正しくありません。 接続情報を確認してください。
- デバイス接続エラー : デバイスが接続されていません。
  デバイスがネットワークに正しく接続されているかどうかを確認してください。
- ネットワークエラー : ネットワークに接続されていません。
  デバイスがネットワークに正しく接続されているかどうかを確認してください。
- 重複アドレスエラー : 同じアドレスがすでに存在します。 （IPとポート番号が同じ場合）
- ログインIDエラー : ログインIDが無効です。 入力したログインIDを確認してください。
- ログインパスワードエラー : ログインパスワードが無効です。
  ログインパスワードを確認してください。

デバイス情報を変更するには

デバイス情報を変更できます。

1. 情報を変更するデバイスを選択し、[**変更**] ボタンをクリックします。
   モデル名以外のすべての情報が変更できます。
   <**Samsung DVR**>にデバイスを登録する場合、このデバイスを現在のウィンドウにリスト表示する前に、デバイス登録を完了してデバイスに接続する必要があります。



- "**ネットワークを切断して次へ進みますか?**"というメッセージが表示されます。切断して名前の変更を続けるには、"**はい**"を選択します。接続を維持して名前の変更を破棄するには、"**いいえ**"を選択します。

デバイスを削除するには

1. 削除するデバイスを選択します。
2. [**削除**] ボタンをクリックします。
3. [**はい**]をクリックします。
   選択したデバイスが削除されます。

- デバイスを変更または削除できるのは、デバイスがネットワークから切断されている場合のみです。デバイスが接続されているときに変更または削除しようとすると、確認ダイアログが表示されます。

デバイスグループを作成するには

登録されているデバイスを同時に接続するためのグループを作成/管理することができます。

1. [**グループ追加**] ボタンをクリックします。
2. 作成するグループの名前を入力します。
   入力した名前でグループが作成されます。

デバイスグループにデバイスを追加するには

登録されているデバイスを同時に接続するためのグループを作成/管理することができます。

1. 追加するデバイスとグループを選択します。
2. デバイスを追加するグループを選択します。
3. 選択したグループへ[**選択したグループへ追加**] ボタンをクリックします。
   選択したグループにデバイスを追加されます。 デバイスは36台まで追加できます。



デバイスグループを削除するには

1. 削除するグループを選択します。
2. [**削除**] ボタンをクリックします。
3. [**はい**]をクリックします。
   選択したグループが削除されます。

設定

デバイス設定

1. デバイスを選択します。
2. [**デバイスページの表示**] をクリックします。
   デバイス設定ウィンドウが表示され、デバイスを詳細に設定できます。

- 設定ウィンドウは、接続されているデバイスによって異なる場合があります。詳細は、該当するデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
- OSの一般ユーザーアカウントでログオンして[**デバイスページの表示**]を実行した場合は、正常に動作しない可能性があります。
  [**デバイスページの表示**]を正常に実行するには、ご使用のOSの管理者アカウントとしてログオンします。

デバイス - アップデートタブ

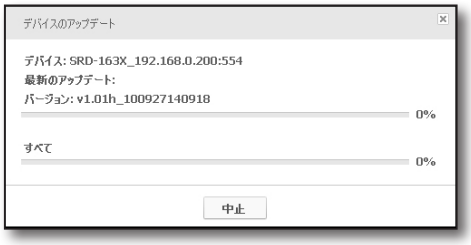
デバイスのファームウェアと、エクスポートまたはインポートの設定を更新します。



デバイスをアップデートするには

デバイスのソフトウェアをアップデートするには、事前に最新バージョンアファイルをPCに保存する必要があります。

1. アップデートするデバイスを選択します。
2. アップデートファイルのパスを設定します。
3. 最新バージョンアファイルを選択します。
4. [**ファームウェア　アップデート**] ボタンをクリックします。
   プログラムのアップデートが開始され、アップデートステータスが表示されます。



- 複数のデバイスを同時に更新でき、更新は登録順に行われます。
- 更新機能は一部のデバイスでは利用できません。

デバイス設定の管理

デバイス設定情報のエクスポート

デバイス設定をファイルとして保存できます。

1. 設定を保存するデバイスを選択します。
2. ファイルの保存パスを設定します。
3. [**設定のエクスポート**] ボタンをクリックします。
   設定情報がファイルとして保存され、結果をメッセージポップアップに表示します。

デバイス設定のインポート

デバイス設定情報をファイルから読み取ることができます。

1. インポートする設定項目を選択します。
2. 保存されたファイルを選択します。
3. [**Include Network Settings**]チェックボックスを選択します。
   これを選択すると、ネットワーク情報がインポートされます。
4. [**設定のインポート**] ボタンをクリックします。
   設定情報がファイルから読み取られます。

- エクスポートおよびインポートの設定機能は、一部のデバイスでは使用できません。

OPEN SOURCE LICENSE NOTIFICATION ON THE PRODUCT

The software included in this product contains copyrighted software that is licensed under the Boost Software License 1.0 / Stichting Mathematisch License/Code Project Open 1.02 License.

- **Boost Software License** : Boost C++ Libraries – boost
- **Stichting Mathematisch License** : Audio File Library
- **Code Project Open 1.02 License** : Code Project - A reusable, high performance, socket server class - Part 3, Code Project - AlphaBlendTextBox - A transparent/translucent textbox for .NET, Code Project - An animated progressbar control with many extras, Code Project - An animated progressbar control with many extras, Code Project - BarTender - Group your contents, Code Project - Inter-Process Communication with C#

Boost Software License - Version 1.0

August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Stichting Mathematisch License

Copyright 1991, 1992, 1993, 1994 by Stichting Mathematisch Centrum, Amsterdam, The Netherlands.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the names of Stichting Mathematisch Centrum or CWI not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The Code Project Open License (CPOL) 1.02

- Code Project - A reusable, high performance, socket server class - Part 3 (2002, Len Holgate)
- Code Project - AlphaBlendTextBox - A transparent/translucent textbox for .NET (2003, Bob Bradley)
- Code Project - An animated progressbar control with many extras (2006, Robert Rohde)
- Code Project – BarTender – Group your contents (2006, Robert Rohde)
- Code Project - Inter-Process Communication with C# (2007, tran manh tuan)

Preamble

This License governs Your use of the Work. This License is intended to allow developers to use the Source Code and Executable Files provided as part of the Work in any application in any form.

The main points subject to the terms of the License are:

- Source Code and Executable Files can be used in commercial applications;
- Source Code and Executable Files can be redistributed; and
- Source Code can be modified to create derivative works.
- No claim of suitability, guarantee, or any warranty whatsoever is provided. The software is provided "as-is".
- The Article accompanying the Work may not be distributed or republished without the Author's consent

This License is entered between You, the individual or other entity reading or otherwise making use of the Work licensed pursuant to this License and the individual or other entity which offers the Work under the terms of this License ("Author").

License

THE WORK (AS DEFINED BELOW) IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS CODE PROJECT OPEN LICENSE ("LICENSE"). THE WORK IS PROTECTED BY COPYRIGHT AND/OR OTHER APPLICABLE LAW. ANY USE OF THE WORK OTHER THAN AS AUTHORIZED UNDER THIS LICENSE OR COPYRIGHT LAW IS PROHIBITED.

BY EXERCISING ANY RIGHTS TO THE WORK PROVIDED HEREIN, YOU ACCEPT AND AGREE TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE. THE AUTHOR GRANTS YOU THE RIGHTS CONTAINED HEREIN IN CONSIDERATION OF YOUR ACCEPTANCE OF SUCH TERMS AND CONDITIONS. IF YOU DO NOT AGREE TO ACCEPT AND BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE, YOU CANNOT MAKE ANY USE OF THE WORK.

1. Definitions.

a) "Articles" means, collectively, all articles written by Author which describes how the Source Code and Executable Files for the Work may be used by a user.

b) "Author" means the individual or entity that offers the Work under the terms of this License.

c) "Derivative Work" means a work based upon the Work or upon the Work and other pre-existing works.

d) "Executable Files" refer to the executables, binary files, configuration and any required data files included in the Work.

e) "Publisher" means the provider of the website, magazine, CD-ROM, DVD or other medium from or by which the Work is obtained by You.

f) "Source Code" refers to the collection of source code and configuration files used to create the Executable Files.

g) "Standard Version" refers to such a Work if it has not been modified, or has been modified in accordance with the consent of the Author, such consent being in the full discretion of the Author.

h) "Work" refers to the collection of files distributed by the Publisher, including the Source Code, Executable Files, binaries, data files, documentation, whitepapers and the Articles.

i) "You" is you, an individual or entity wishing to use the Work and exercise your rights under this License.

2. Fair Use/Fair Use Rights.
Nothing in this License is intended to reduce, limit, or restrict any rights arising from fair use, fair dealing, first sale or other limitations on the exclusive rights of the copyright owner under copyright law or other applicable laws.

3. License Grant.
Subject to the terms and conditions of this License, the Author hereby grants You a worldwide, royalty-free, non-exclusive, perpetual (for the duration of the applicable copyright) license to exercise the rights in the Work as stated below:

a) You may use the standard version of the Source Code or Executable Files in Your own applications.
b) You may apply bug fixes, portability fixes and other modifications obtained from the Public Domain or from the Author. A Work modified in such a way shall still be considered the standard version and will be subject to this License.
c) You may otherwise modify Your copy of this Work (excluding the Articles) in any way to create a Derivative Work, provided that You insert a prominent notice in each changed file stating how, when and where You changed that file.
d) You may distribute the standard version of the Executable Files and Source Code or Derivative Work in aggregate with other (possibly commercial) programs as part of a larger (possibly commercial) software distribution.
e) The Articles discussing the Work published in any form by the author may not be distributed or republished without the Author's consent. The author retains copyright to any such Articles. You may use the Executable Files and Source Code pursuant to this License but you may not repost or republish or otherwise distribute or make available the Articles, without the prior written consent of the Author.

Any subroutines or modules supplied by You and linked into the Source Code or Executable Files this Work shall not be considered part of this Work and will not be subject to the terms of this License.

4. Patent License.
Subject to the terms and conditions of this License, each Author hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, import, and otherwise transfer the Work.

5. Restrictions. The license granted in Section 3 above is expressly made subject to and limited by the following restrictions:

a) You agree not to remove any of the original copyright, patent, trademark, and attribution notices and associated disclaimers that may appear in the Source Code or Executable Files.
b) You agree not to advertise or in any way imply that this Work is a product of Your own.
c) The name of the Author may not be used to endorse or promote products derived from the Work without the prior written consent of the Author.
d) You agree not to sell, lease, or rent any part of the Work. This does not restrict you from including the Work or any part of the Work inside a larger software distribution that itself is being sold. The Work by itself, though, cannot be sold, leased or rented.
e) You may distribute the Executable Files and Source Code only under the terms of this License, and You must include a copy of, or the Uniform Resource Identifier for, this License with every copy of the Executable Files or Source Code You distribute and ensure that anyone receiving such Executable Files and Source Code agrees that the terms of this License apply to such Executable Files and/or Source Code. You may not offer or impose any terms on the Work that alter or restrict the terms of this License or the recipients' exercise of the rights granted hereunder. You may not sublicense the Work. You must keep intact all notices that refer to this License and to the disclaimer of warranties. You may not distribute the Executable Files or Source Code with any technological measures that control access or use of the Work in a manner inconsistent with the terms of this License.
f) You agree not to use the Work for illegal, immoral or improper purposes, or on pages containing illegal, immoral or improper material. The Work is subject to applicable export laws. You agree to comply with all such laws and regulations that may apply to the Work after Your receipt of the Work.

6. Representations, Warranties and Disclaimer.
THIS WORK IS PROVIDED "AS IS", "WHERE IS" AND "AS AVAILABLE", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OR GUARANTEES. YOU, THE USER, ASSUME ALL RISK IN ITS USE, INCLUDING COPYRIGHT INFRINGEMENT, PATENT INFRINGEMENT, SUITABILITY, ETC. AUTHOR EXPRESSLY DISCLAIMS ALL EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTIES OR CONDITIONS, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, MERCHANTABLE QUALITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ANY WARRANTY OF TITLE OR NON-INFRINGEMENT, OR THAT THE WORK (OR ANY PORTION THEREOF) IS CORRECT, USEFUL, BUG-FREE OR FREE OF VIRUSES. YOU MUST PASS THIS DISCLAIMER ON WHENEVER YOU DISTRIBUTE THE WORK OR DERIVATIVE WORKS.

7. Indemnity.
You agree to defend, indemnify and hold harmless the Author and the Publisher from and against any claims, suits, losses, damages, liabilities, costs, and expenses (including reasonable legal or attorneys' fees) resulting from or relating to any use of the Work by You.

8. Limitation on Liability.
EXCEPT TO THE EXTENT REQUIRED BY APPLICABLE LAW, IN NO EVENT WILL THE AUTHOR OR THE PUBLISHER BE LIABLE TO YOU ON ANY LEGAL THEORY FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR EXEMPLARY DAMAGES ARISING OUT OF THIS LICENSE OR THE USE OF THE WORK OR OTHERWISE, EVEN IF THE AUTHOR OR THE PUBLISHER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

9. Termination.

a) This License and the rights granted hereunder will terminate automatically upon any breach by You of any term of this License. Individuals or entities who have received Derivative Works from You under this License, however, will not have their licenses terminated provided such individuals or entities remain in full compliance with those licenses. Sections 1, 2, 6, 7, 8, 9, 10 and 11 will survive any termination of this License.
b) If You bring a copyright, trademark, patent or any other infringement claim against any contributor over infringements You claim are made by the Work, your License from such contributor to the Work ends automatically.
c) Subject to the above terms and conditions, this License is perpetual (for the duration of the applicable copyright in the Work). Notwithstanding the above, the Author reserves the right to release the Work under different license terms or to stop distributing the Work at any time; provided, however that any such election will not serve to withdraw this License (or any other license that has been, or is required to be, granted under the terms of this License), and this License will continue in full force and effect unless terminated as stated above.

10. Publisher.
The parties hereby confirm that the Publisher shall not, under any circumstances, be responsible for and shall not have any liability in respect of the subject matter of this License. The Publisher makes no warranty whatsoever in connection with the Work and shall not be liable to You or any party on any legal theory for any damages whatsoever, including without limitation any general, special, incidental or consequential damages arising in connection to this license. The Publisher reserves the right to cease making the Work available to You at any time without notice

11. Miscellaneous

a) This License shall be governed by the laws of the location of the head office of the Author or if the Author is an individual, the laws of location of the principal place of residence of the Author.
b) If any provision of this License is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this License, and without further action by the parties to this License, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.
c) No term or provision of this License shall be deemed waived and no breach consented to unless such waiver or consent shall be in writing and signed by the party to be charged with such waiver or consent.
d) This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the Work licensed herein. There are no understandings, agreements or representations with respect to the Work not specified herein. The Author shall not be bound by any additional provisions that may appear in any communication from You. This License may not be modified without the mutual written agreement of the Author and You.



販売ネットワーク

SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.
Samsungtechwin R&D Center, 701, Sampyeong-dong, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea, 463-400
TEL : +82-70-7147-8740~60 FAX : +82-31-8018-3745

SAMSUNG TECHWIN AMERICA Inc.
100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660
Toll Free : +1-877-213-1222 Direct : +1-201-325-6920
Fax : +1-201-373-0124
www.samsungcctvusa.com

SAMSUNG TECHWIN EUROPE LTD.
Samsung House, 1000 Hillswood Drive, Hillswood Business Park
Chertsey, Surrey, UNITED KINGDOM KT16 OPS
TEL : +44-1932-45-5300 FAX : +44-1932-45-5325

www.samsungtechwin.com
www.samsungsecurity.com
www.samsungipolis.com